令和6年 第1回(定例)南部町議会会議録(第2日)

令和6年3月7日(木曜日)

議事日程(第2号)

令和6年3月7日 午前9時開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 議事日程の宣告
- 日程第3 議案第18号 令和6年度南部町一般会計予算
- 日程第4 議案第19号 令和6年度南部町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第20号 令和6年度南部町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第6 議案第21号 令和6年度南部町墓苑事業特別会計予算
- 日程第7 議案第22号 令和6年度南部町太陽光発電事業特別会計予算
- 日程第8 議案第23号 令和6年度南部町水道事業会計予算
- 日程第9 議案第24号 令和6年度南部町下水道事業会計予算
- 日程第10 議案第25号 令和6年度南部町病院事業会計予算
- 日程第11 議案第26号 令和6年度南部町在宅生活支援事業会計予算
- 日程第12 議案第27号 南部町と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について
- 日程第13 議案第28号 南部町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について
- 日程第14 議案第29号 公の施設の指定管理者の指定について(南部町介護研修施設)
- 日程第15 議案第30号 公の施設の指定管理者の指定について(南部町地域農産物加工施設めぐみの里)
- 日程第16 議案第31号 区域外における公の施設の廃止に関する協議について
- 日程第17 議案第32号 財産の無償貸付について
- 日程第18 議案第33号 町道路線の認定について
- 日程第19 上程議案に対する質疑
- 議案第2号 令和5年度南部町一般会計補正予算(第8号)

- 議案第 3 号 令和 5 年度南部町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 4 号 令和 5 年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 5 号 令和 5 年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 6 号 令和 5 年度南部町太陽光発電事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 7 号 令和 5 年度南部町水道事業会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 8 号 令和 5 年度南部町病院事業会計補正予算（第 4 号）
- 議案第 9 号 令和 5 年度南部町在宅生活支援事業会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 10 号 南部町情報公開条例等の一部改正について
- 議案第 11 号 南部町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 議案第 12 号 南部町議会議員及び南部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- 議案第 13 号 南部町がんばれふるさと寄付条例の一部改正について
- 議案第 14 号 南部町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正について
- 議案第 15 号 南部町コテージ条例の一部改正について
- 議案第 16 号 南部町病院事業の設置に関する条例の一部改正について
- 議案第 17 号 南部町老人憩の家条例の廃止について
- 議案第 18 号 令和 6 年度南部町一般会計予算
- 議案第 19 号 令和 6 年度南部町国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第 20 号 令和 6 年度南部町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第 21 号 令和 6 年度南部町墓苑事業特別会計予算
- 議案第 22 号 令和 6 年度南部町太陽光発電事業特別会計予算
- 議案第 23 号 令和 6 年度南部町水道事業会計予算
- 議案第 24 号 令和 6 年度南部町下水道事業会計予算
- 議案第 25 号 令和 6 年度南部町病院事業会計予算
- 議案第 26 号 令和 6 年度南部町在宅生活支援事業会計予算
- 議案第 27 号 南部町と鳥取県の間における個人情報保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について
- 議案第 28 号 南部町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について

て

議案第29号 公の施設の指定管理者の指定について（南部町介護研修施設）

議案第30号 公の施設の指定管理者の指定について（南部町地域農産物加工施設めぐみの里）

議案第31号 区域外における公の施設の廃止に関する協議について

議案第32号 財産の無償貸付について

議案第33号 町道路線の認定について

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議事日程の宣告

日程第3 議案第18号 令和6年度南部町一般会計予算

日程第4 議案第19号 令和6年度南部町国民健康保険事業特別会計予算

日程第5 議案第20号 令和6年度南部町後期高齢者医療特別会計予算

日程第6 議案第21号 令和6年度南部町墓苑事業特別会計予算

日程第7 議案第22号 令和6年度南部町太陽光発電事業特別会計予算

日程第8 議案第23号 令和6年度南部町水道事業会計予算

日程第9 議案第24号 令和6年度南部町下水道事業会計予算

日程第10 議案第25号 令和6年度南部町病院事業会計予算

日程第11 議案第26号 令和6年度南部町在宅生活支援事業会計予算

日程第12 議案第27号 南部町と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について

日程第13 議案第28号 南部町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について

日程第14 議案第29号 公の施設の指定管理者の指定について（南部町介護研修施設）

日程第15 議案第30号 公の施設の指定管理者の指定について（南部町地域農産物加工施設めぐみの里）

日程第16 議案第31号 区域外における公の施設の廃止に関する協議について

日程第17 議案第32号 財産の無償貸付について

日程第18 議案第33号 町道路線の認定について

日程第19 上程議案に対する質疑

議案第2号 令和5年度南部町一般会計補正予算(第8号)

議案第3号 令和5年度南部町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

議案第4号 令和5年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

議案第5号 令和5年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

議案第6号 令和5年度南部町太陽光発電事業特別会計補正予算(第3号)

議案第7号 令和5年度南部町水道事業会計補正予算(第3号)

議案第8号 令和5年度南部町病院事業会計補正予算(第4号)

議案第9号 令和5年度南部町在宅生活支援事業会計補正予算(第2号)

議案第10号 南部町情報公開条例等の一部改正について

議案第11号 南部町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

議案第12号 南部町議会議員及び南部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

議案第13号 南部町がんばれふるさと寄付条例の一部改正について

議案第14号 南部町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正について

議案第15号 南部町コテージ条例の一部改正について

議案第16号 南部町病院事業の設置に関する条例の一部改正について

議案第17号 南部町老人憩の家条例の廃止について

議案第18号 令和6年度南部町一般会計予算

議案第19号 令和6年度南部町国民健康保険事業特別会計予算

議案第20号 令和6年度南部町後期高齢者医療特別会計予算

議案第21号 令和6年度南部町墓苑事業特別会計予算

議案第22号 令和6年度南部町太陽光発電事業特別会計予算

議案第23号 令和6年度南部町水道事業会計予算

議案第24号 令和6年度南部町下水道事業会計予算

議案第25号 令和6年度南部町病院事業会計予算

議案第26号 令和6年度南部町在宅生活支援事業会計予算

議案第27号 南部町と鳥取県の間における個人情報保護に関する法律に基づく合議

- 制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について
- 議案第28号 南部町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について
- 議案第29号 公の施設の指定管理者の指定について（南部町介護研修施設）
- 議案第30号 公の施設の指定管理者の指定について（南部町地域農産物加工施設めぐみの里）
- 議案第31号 区域外における公の施設の廃止に関する協議について
- 議案第32号 財産の無償貸付について
- 議案第33号 町道路線の認定について

出席議員（14名）

1番 埴田光雄君	2番 加藤学君
3番 荊尾芳之君	4番 滝山克己君
5番 米澤睦雄君	6番 長束博信君
7番 白川立真君	8番 三鴨義文君
9番 仲田司朗君	10番 板井隆君
11番 細田元教君	12番 亀尾共三君
13番 真壁容子君	14番 景山浩君

欠席議員（なし）

欠員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	田子勝利君	書記	亀尾真哉君
		書記	船原美香君
		書記	赤井沙樹君

説明のため出席した者の職氏名

町長	陶山清孝君	副町長	土江一史君
教育長	福田範史君	病院事業管理者	足立正久君
総務課長	大塚壮君	総務課課長補佐	石谷麻衣子君
企画政策課長	田村誠君	デジタル推進課長	美甘哲也君
防災監	田中光弘君	税務課長	三輪祐子君
町民生活課長	渡邊悦朗君	子育て支援課長	芝田卓巳君
総務・学校教育課長	水嶋志都子君	人権・社会教育課長	二宮伸司君
病院事務部長	山口俊司君	健康福祉課長	前田かおり君
福祉事務所長	泉潤哉君	建設課長	岡田光政君
産業課長	藤原宰君	農業委員会事務局長	亀尾憲司君

午前9時00分開議

○議長（景山 浩君） 定刻になりましたので、会議を開きます。

ただいまの出席議員数は13人です。地方自治法第113条の規定による定足数に達しておりますので、延会としていました会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（景山 浩君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、次の2人を指名いたします。

4番、滝山克己君、5番、米澤睦雄君。

日程第2 議事日程の宣告

○議長（景山 浩君） 日程第2、議事日程の宣告を行います。

本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりであります。

日程第3 議案第18号 から 日程第18 議案第33号

○議長（景山 浩君） 昨日に引き続き、町長から上程議案の提案説明を受けたいと思います。

お諮りします。日程第3、議案第18号、令和6年度南部町一般会計予算から、日程第18、議案第33号、町道路線の認定についてまでを一括して説明を受けたいと思いますが、これに御

異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 御異議なしと認めます。よって、日程第3、議案第18号から日程第18、議案第33号までの提案説明をお願いします。

町長から提案理由の説明を求めます。

総務課長、大塚壮君。

○総務課長（大塚 壮君） おはようございます。総務課長です。よろしく申し上げます。そういたしますと、令和6年度南部町一般会計当初予算書と、それから当初予算の説明資料で御説明をしたいと思いますので、御準備をよろしくお願いいたします。

そういたしますと、まず当初予算書のほうでございます。

.....
議案第18号

令和6年度南部町一般会計予算

令和6年度南部町の一般会計の予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算）

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ8,153,000千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

（債務負担行為）

第2条 地方自治法第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第2表 債務負担行為」による。

（地方債）

第3条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第3表 地方債」による。

（一時借入金）

第4条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、1,000,000千円と定める。

（歳出予算の流用）

第5条 地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

（1）各項に計上した給料、職員手当等及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合におけ

る同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

令和6年3月 6日

提出 南部町長 陶山清孝

令和6年3月 日

決 南部町議会議長 景山 浩

.....

そういたしますと、7ページを御覧ください。第2表、債務負担行為です。基幹システム標準化移行業務、期間は令和6年度から令和7年度、限度額は7,388万4,000円となります。

次に、第3表、地方債です。起債の目的及び借入限度額は、上段よりCATV設備更新事業、限度額340万円から、臨時財政対策債、限度額940万円まで22項目、限度額総額4億8,850万円としております。なお、起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりでございます。

次に、予算の全体的な説明を行います。当初予算説明資料のほうで行いたいと思いますので、御準備をお願いします。

1ページでございます。各会計の予算規模の比較を記載しております。令和6年度一般会計は、歳入歳出総額81億5,300万円を計上いたしております。昨年度の令和5年度当初予算77億4,700万円と比較いたしまして4億600万円の増、対前年比で5.2%の増となることから、令和6年度一般会計当初予算総額は、当初予算といたしましては過去最大規模となりました。大きな特徴といたしましては、令和5年度から事業化しておりますフルーツロード構想の推進を図るため、引き続き賀野地区の五色ヶ丘果樹団地の再整備を行うことによってより安定した高収益作物の生産基盤を整えます。また、任期満了に伴いまして本年10月に施行予定の南部町長及び南部町議会議員選挙におけます必要経費を計上し、公正公平で適正な選挙を執り行いたいと思っております。次に、つくし保育園とさくら保育園を統合いたしまして新たな場所に保育所を開設するため、本年度は用地取得、造成工事等を行います。また、ひまわり保育園の長寿命化を図るため、必要な修繕を行うことにより子供たちが健やかに育つ環境づくりを進めます。学校内で部外者による犯罪が増加していることを踏まえ、全ての小・中学校に防犯カメラを設置いたします。また、学校により安心して利用できる環境とするために、全ての小・中学校のトイレを洋式化することで子育て環境の充実を図ってまいります。

下段には平成27年度以降の一般会計予算の推移をグラフにしております。コロナ禍以降、エネルギー価格と賃金上昇に伴う人件費の高騰の影響により、引き続き厳しい財政状況にはありますが、町民の生活と健康を守り、安心・安全な生活の実現に向け、着実な施策の推進を図りたいと考えております。

2 ページから 4 ページまでは予算の分析をお示ししています。

まず、2 ページでございます。歳入予算でございます。上段の表で款別の歳入予算比較を記載しております。町税は9億8,038万9,000円を計上し、428万7,000円の増となっています。住民税はコロナ禍前の水準に戻ると想定し、増収を見込んでおりますが、固定資産税は評価替えの年となりますので、減少見込みでございます。

次に、地方交付税ですが、令和6年度37億3,800万円を計上いたしました。内訳として下の表を見ていただきますと、対前年比で普通交付税が1億1,132万円の増の32億800万円、特別交付税が748万6,000円増の5億3,000万円としております。いずれも近年の決算額を基に、令和6年度の交付税算入見込額を予算化したものでございます。

次に、国庫支出金8億1,533万3,000円、県支出金6億9,857万2,000円を計上し、合わせて15億1,390万5,000円となり、予算の構成比では18.6%を占めています。増減の主なものについては下段にお示ししていますので、お読み取りをいただきたいと思えます。

次に、寄附金ですが、寄附金は前年度と比較しまして1,350万円増の1億250万1,000円を計上しています。これは令和5年度実績により寄附金額が増加の見込みであることを踏まえたものでございます。

町債は4億8,850万円で、1億7,650万円の増となりました。本年度は施設の整備・改修に係る借入金の増加などにより前年度比で56.6%の増となっています。

中段には上記の表を円グラフにして図示しております。本町の財政構造として、自主財源は25%と低く、また、依存財源が約6割、全体予算においても5割弱を占める地方交付税に大きく影響を受けていることが見受け取れます。

下段には各項目の対前年比較の主なものを記載していますので、御確認をお願いします。

続いて、歳出予算について説明します。3 ページをお願いします。まず、目的別についてでございます。歳入同様、上段の表で款別の歳出予算比較を記載しています。予算額で大きな構成比を占めるのは、民生費、総務費及び衛生費でございます。

民生費は28億7,067万8,000円を計上いたしました。対前年比で4億4,277万1,000円、18.2%の増となりました。社会保障関係経費として障がい児通所支援事業、自立支援介護給付事業、生活保護扶助が毎年増加傾向にあります。それに加え、令和6年度は保育所整備事業、健康管理センターエアコン更新事業により増加となっています。

次に、総務費でございます。16億4,243万5,000円、対前年比で6,191万7,

000円の減となりました。年次的に整備を進めた光ファイバ整備事業や令和5年度に行ったケーブルテレビ施設の編集設備更新が完了したことでの減となります。総務費の対前年比では3.6%の減となっています。

続いて、衛生費は9億2,131万9,000円、対前年比で7,868万7,000円の減となります。公営企業法の適用により浄化槽整備事業特別会計繰出金は皆減となっています。

農林水産業費は6億1,022万1,000円、対前年比で6,828万4,000円の減額となりました。主な要因といたしましては、衛生費と同様に公営企業法の適用によりまして農業集落排水事業特別会計繰出金の皆減などがございます。

商工費は3,370万9,000円、対前年比で3,568万4,000円の減。要因としては、地域活性化ポイント導入事業の導入から運用に移行したことによる減となります。

土木費は5億9,099万6,000円、対前年比で49.2%の増額となりました。公営企業法の適用によりまして下水道事業に対する繰出金が衛生費及び農林水産業費において皆減した全額が土木費のほうに計上されたことが主な要因となっています。

消防費は3,686万4,000円、1,229万円の減となりました。減額要因は、防火水槽新設事業が完了したことによるものでございます。

教育費です。7億1,105万8,000円、対前年比2,812万4,000円の増加となりました。学校防犯対策強化事業及び学校トイレ洋式化事業や、小学校におけるデジタル教科書の更新に係る費用が主な増加の原因となります。

公債費です。6億3,834万4,000円、対前年比では354万3,000円の減額予算となります。これは防災無線デジタル化、水道統合事業、会見小学校耐震補強事業などの償還が完了いたしましたことによります減額となっています。

なお、中段、下段には歳入予算同様に構成比率の円グラフ、各項目の対前年比較の主なものを記載していますので、御確認をお願いします。

4ページをお願いします。次に、歳出予算の性質別について記載をしています。義務的経費は、総額33億5,355万9,000円となります。公債費を除いて人件費、扶助費とも増加、総額では対前年比で7.5%の増となっています。

投資的経費は、総額で7億6,828万3,000円となりました。健康管理センターエアコン更新事業、保育所整備事業、学校トイレ洋式化事業などの増によりまして対前年比で3.5%の増となっています。

その他の経費で、補助費等の増と繰出金の減は、下水道事業の法適化に伴いまして歳出の性質

が繰出金から補助費へと変更になったものでございます。

5 ページをお願いします。過去 10 年間の基金及び地方債現在高の推移をグラフ化したものでございます。令和 5 年度及び令和 6 年度については見込額でございますので、御承知おきをいただきたいと思っております。

まず、基金についてです。平成 28 年度までは年次的に基金への積立てが行われてきましたが、歳入面では、町税収入の減、歳出面では、社会保障費等の増加などにより財政の収支バランスの維持が困難となり、平成 29 年度以降は基金の取崩しを余儀なくされている状況にありました。令和 2 年度からコロナ禍となり、コロナ関連事業を全て国費で行ったことや、交付税の追加配分があったことで令和 3 年度には一時的に積立てを行うことができましたが、コロナ収束後も物価高騰や賃金上昇に伴う人件費の増などの影響で、基金の取崩しをもって収支のバランスを取っています。

次に、地方債現在高に対する基金残高と算入交付税の推移についてでございます。地方債残高は令和元年度までは年次的に減少していましたが、令和元年度の複合施設整備事業、令和 2 年度からの光ファイバ整備事業での合併特例債の借入れなどが大きく影響し増加となり、令和 5 年度末見込みで 59 億 8,000 万円余りとなります。基金の残高は減少傾向にありますが、借り入れる起債の種類を厳選し、交付税算入のある有利な起債を優先して活用していることから、理論値ではございますが、算入交付税を含めた基金残高との総額は起債の残高を上回っており、令和 6 年度末においてもその状況は維持できるものと試算をしています。

予算説明資料での説明は以上とさせていただきます。

続いて、一般会計予算書での説明をさせていただきたいと思っております。

6 年度予算で特徴的なもの、新規の事業を中心に予算に関する説明書の歳出予算でそれぞれ事業を紹介して、説明とさせていただきます。37 ページでございます。よろしいですか。2 款総務費、1 項総務管理費、7 目財産管理費でございます。個別施設計画策定事業といたしまして、予算額 407 万円を計上しています。令和 2 年度に策定した南部町個別施設計画の改定を行うものでございます。

40 ページ、お願いします。同じく 9 目企画費でございます。デジタルリーダー育成事業として予算額 33 万円を計上しています。主に青年団、高校生サークルが担うデジタルリーダーが講師を行うスマホ教室を維持・拡大し、シニア層に対するスマホ技量の向上、世代間のつながりの醸成、若い世代の達成感を図ってまいります。地域活性化起業人（企業人材派遣制度）活用事業でございます。予算額 1,210 万円を計上しています。令和 5 年度から総務省の地域活性化起

業人制度を活用した人材派遣に加え、令和6年度はJICA国際協力機構の人材を南部町に誘致し、国際交流、多文化共生などを軸とした関係人口や交流人口創出へつながる取組へのサポートを行うものでございます。

43ページをお願いします。同じく3項戸籍住民登録費、1目戸籍住民登録費でございます。戸籍追加項目対応事業といたしまして、予算額1,265万8,000円を計上しています。戸籍法の改正により戸籍の氏名への振り仮名記載を行うこととなるため、氏名の振り仮名を確認を行うものでございます。

44ページをお願いします。同じく4項選挙費、3目町長・町議会議員選挙費でございます。町長・町議会議員選挙費といたしまして、予算額1,555万8,000円を計上しています。任期満了に伴い、令和6年10月施行予定の町長・町議会議員選挙を執り行うものでございます。

48ページをお願いします。3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費でございます。健康管理センターエアコン更新事業として予算額4,290万円を計上しています。すこやか内の冷暖房設備更新及び電気設備を改修するものでございます。

50ページをお願いします。同じく4目高齢者福祉費でございます。緊急通報ネットワーク事業として予算額119万円を計上しています。独り暮らしの高齢者等の急病や事故などの緊急時に迅速な対応を行うために導入する緊急通報システムの入替え及び周知に係る経費を計上するものでございます。

56ページをお願いします。同じく2項児童福祉費、5目保育園費でございます。保育システムの導入事業として予算額651万5,000円を計上しています。町内4園に保育システムを導入し、保育士の事務負担軽減と保護者の利便性向上を進めるものでございます。

66ページをお願いします。4款衛生費、4項病院費、1目病院費でございます。病院事業費として予算額5億4,805万円を計上しています。病院経営の安定化を図り、地域住民がいつでも身近に安心して医療を受けることができるよう、地方公営企業繰出金の通知に準じて経費を繰り出すものでございます。

71ページをお願いします。5款農林水産業費、1項農業費、5目農業振興費でございます。がんばる地域プラン支援事業として予算額5,119万1,000円を計上しています。フルーツロード構想の基盤となる果物の生産振興として新たな担い手の誘致と育成に取り組み、就農誘致のための推進事業と研修拠点施設の整備を行うものでございます。イネカメムシ緊急防除支援事業として予算額1,504万4,000円を計上しています。県と協調いたしましてイネカメムシの防除に係る経費や防除機械の導入に対して補助金を交付いたすものでございます。

75ページをお願いします。6款商工費、1項商工費、1目商工振興費でございます。地域活性化ポイント導入事業として予算額281万円を計上しています。デジタル地域通貨たすかーどの利用を推進することで、町内店舗の売上げの増加、行政事業への参加の増加、キャッシュレス決済の普及など、カードを通じて地域全体の活性化を図っていくものでございます。

77ページをお願いします。7款土木費、2項道路橋梁費、2目道路新設改良費でございます。道路長寿命化事業として予算額1,000万円を計上しています。経年劣化に伴う補修に対する要望が多く寄せられているため、路線補修の必要性、優先順位の高い路線の抽出等を目的に再度道路ストック点検を行い、新たな修繕計画を策定していくものでございます。

同じく4項住宅費、2目住宅整備費の震災に強いまちづくり促進事業では831万円を計上しています。耐震改修促進化計画の更新を行うものでございます。

85ページをお願いします。9款教育費、1項教育総務費、2目事務局費でございます。学校防犯対策強化事業として予算1,081万3,000円を計上しています。近年学校内で部外者による犯罪が増えているため、防犯カメラ及び非常通報装置を全ての小・中学校に設置し、未然に不審者の侵入を防ぎ、安心して生活できる学校環境を整備するものでございます。学校トイレ洋式化事業といたしまして、予算額3,736万6,000円を計上しています。バリアフリー化の観点から全ての小・中学校のトイレを洋式化し、全ての子供たちが安心して使うことができる環境の整備を行います。

次に、97ページをお願いします。97ページには給与費の明細書をつけております。特別職の給与費、共済費を掲載しております。前年度と比較いたしますと、職員数は31名の増としております。これは南部町特別職で非常勤の者のものでございます。県知事・県議会選挙の関係で増になります。あわせて町長・町議会選挙関係及び農林業センサスの関係で増員となります。これを合計いたしますと31名の増となっています。これに伴いまして給与費も全体で195万3,000円の増を見込んでいます。令和6年度特別職分の予算といたしましては、給与費、共済費の合計は1億4,020万2,000円となりました。

98ページをお願いします。一般職の給与費、共済費を記載しております。給与費は8,583万4,000円増、それから共済費は1,789万9,000円増で、合計13億4,948万1,000円となりました。職員数は2名の減となっています。なお、これはフルタイムの会計年度任用職員を含めた数字となっています。また、米印に記載していますように、括弧内には外書きとして再任用短時間勤務職員、パートタイムの会計年度任用職員の人数を記載しています。

99ページには内訳といたしまして、ア、会計年度任用職員以外の職員、それからイとしまし

て会計年度任用職員を記載しておりますので、御覧いただきたいと思ひます。

100ページをお願いします。100ページ以降の明細は、会計年度任用職員以外の職員に係る給料及び職員手当の増減額の明細を示しています。会計年度任用職員以外の職員について前年度を比較しますと、中段の右側辺りに記載しておりますけれども、採用が3名、退職が4名になりまして、1名の減ということになります。

また、101ページ、102ページには予算に対する給料及び職員手当の分析状況を記載しております。こちらも御確認をお願いします。

次に、103ページから107ページにわたりましては、債務負担行為について調書をまとめています。各施設の指定管理を中心に、戸籍情報等のシステム関係、学校給食調理等業務委託など、複数年にわたる契約に係る支払い予定額、また、新たに設定した予算を伴わない債務負担行為、通称ゼロ債と言っていますが、これを記載していますので、御覧いただきたいと思ひます。

最後に、108ページでございます。地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書でございます。令和6年度末の起債残高見込額は58億7,461万円を見込んでいます。

以上、長時間になりましたけれども、議案第18号、令和6年度南部町一般会計予算の説明を終わります。御審議よろしくお願ひいたします。

○議長（景山 浩君） 町民生活課長、渡邊悦朗君。

○町民生活課長（渡邊 悦朗君） 町民生活課長です。それでは、予算書で説明をさせていただきます。国民健康保険になります。よろしいでしょうか。それでは、議案第19号、令和6年度南部町国民健康保険事業特別会計予算。

.....
議案第19号

令和6年度南部町国民健康保険事業特別会計予算

令和6年度南部町の国民健康保険事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算）

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1,326,400千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

令和6年3月 6日

提出 南部町長 陶山清孝

令和6年3月 日

決 南部町議会議長 景山 浩

.....

それでは、歳出から説明させていただきます。主なものを説明させていただきます。8ページをお願いします。1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費です。本年度予算額は1,130万5,000円で、前年度より178万8,000円の増になります。主な理由は、システム改修のための委託料の増になります。

9ページを御覧ください。2款保険給付費、1項療養諸費、1目療養給付費です。本年度予算額は8億6,647万4,000円で、前年度より6,228万5,000円の減としております。過去3年度の対前年度の伸び率により算出しております。

2項高額療養費、1目高額療養費です。本年度予算額は1億4,659万3,000円で、前年度より694万4,000円の減としております。こちらも過去3年度の対前年度の伸び率により算出しております。

10ページを御覧ください。3款国民健康保険事業費納付金、1項国民健康保険事業費納付金です。医療、後期、介護を合わせまして本年度予算額は2億5,188万2,000円で、前年度より1,703万8,000円の減額になります。それぞれの内訳は予算書で御覧いただきますようお願いいたします。こちらは国が提示した計数により県が算出して確定した納付金になります。

5款保健事業費、1項特定健康診査等事業費、1目特定健康診査等事業費です。本年度予算額は1,235万5,000円で、前年度より3万1,000円の増としております。特定健康診査や特定保健指導の費用になります。

11ページを御覧ください。2項保健事業費、2目健康施設管理費です。本年度予算額は1,497万5,000円です。前年度より50万1,000円の増としております。こちらも健康管理センターすこやかなの person 費の一部や施設管理費になります。

次に、歳入を御説明いたします。5ページをお願いします。1款国民健康保険税、1項国民健康保険税、1目国民健康保険税です。本年度予算額は1億6,901万1,000円で、前年度より1,541万2,000円の減としております。内訳は記載のとおりです。なお、国民健康保険税は歳入予算の不足額を計上しております。

6ページを御覧ください。5款県支出金、2項県補助金、1目保険給付費等交付金です。本年度予算は10億5,516万5,000円で、前年度より7,043万4,000円の減としております。保険給付費の減によるものです。

8款繰入金、1項繰入金、1目一般会計繰入金です。本年度予算額は9,832万円で、前年度より131万円の減としております。基盤安定繰入金の減を見込んだことによるものです。

13ページをお願いします。13ページの給与費明細書は、特別職の国保運営協議会の委員6名分になります。

14ページ以降は職員分を載せておりますので、御確認ください。

最後に、19ページになります。債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額または支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書を載せています。いわゆるゼロ債でございますので、御確認をお願いします。

以上でございます。御審議のほど、よろしくをお願いします。

続きまして、後期高齢者医療特別会計になります。予算書で説明します。準備をお願いします。それでは、予算書1ページを御覧ください。

.....
議案第20号

令和6年度南部町後期高齢者医療特別会計予算

令和6年度南部町の後期高齢者医療特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ217,500千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

令和6年3月 6日 提出 南部町長 陶山清孝

令和6年3月 日 決 南部町議会議長 景山 浩

.....
それでは、歳出から説明させていただきます。7ページを御覧ください。1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費です。本年度予算額は187万8,000円で、前年度より75万7,000円の増としております。こちらは事務経費となっており、パソコンの更新によるものが主なものになります。

2款分担金及び負担金、1項広域連合負担金、1目広域連合分賦金です。本年度予算額は2億844万3,000円で、前年度より3,635万5,000円の増としております。被保険者数及び医療費の推移から広域連合が算出したものになります。

次に、歳入について御説明します。5ページを御覧ください。1款後期高齢者医療保険料、1項後期高齢者医療保険料、1目後期高齢者医療保険料です。本年度予算額は1億4,376万6,000円で、前年度より2,732万9,000円の増としております。こちら保険料率の見直

しによるものになります。

4 款繰入金、1 項繰入金、1 目一般会計繰入金です。本年度予算額は 6,762 万 6,000 円で、前年度より 937 万 7,000 円の増としております。事務費と基盤安定繰入金の増加によるものです。

6 ページを御覧ください。6 款諸収入、3 項雑入、1 目雑入です。本年度予算額は 559 万 6,000 円で、前年度より 6,000 円の減としております。後期高齢者の保健指導の委託料が主なものになります。

以上でございます。御審議のほど、よろしく申し上げます。

続きまして、墓苑事業特別会計になります。予算書をお開きください。よろしいでしょうか。1 ページです。

.....
議案第 21 号

令和 6 年度南部町墓苑事業特別会計予算

令和 6 年度南部町の墓苑事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第 1 条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 1,968 千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第 1 表 歳入歳出予算」による。

令和 6 年 3 月 6 日 提出 南部町長 陶山清孝

令和 6 年 3 月 日 決 南部町議会議長 景山 浩

.....
それでは、歳出から説明させていただきます。5 ページを御覧ください。1 款総務費、1 項総務管理費、1 目一般管理費です。本年度予算は 88 万 2,000 円で、前年度より 9 万 5,000 円の減としております。墓苑の維持管理費になります。

2 款諸支出金、1 項償還金、1 目償還金です。本年度予算額は 73 万 2,000 円で、前年度より 36 万 6,000 円の減としております。未使用の墓地の解約による返還金になります。

続きまして、歳入になります。4 ページを御覧ください。1 款使用料及び手数料、1 項使用料、1 目墓地使用料です。本年度予算額は 129 万 9,000 円で、前年度より 37 万 3,000 円の減としております。新規購入された場合の使用料になります。

2 項手数料、1 目墓地手数料になります。本年度予算額は 66 万 9,000 円で、前年度より

9,000円の減としております。管理手数料になります。

以上でございます。御審議のほど、よろしく申し上げます。

続きまして、太陽光発電事業特別会計になります。予算書1ページを御覧ください。

議案第22号

令和6年度南部町太陽光発電事業特別会計予算

令和6年度南部町の太陽光発電事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ71,400千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

令和6年3月 6日 提出 南部町長 陶山清孝

令和6年3月 日 決 南部町議会議長 景山 浩

それでは、歳出から説明いたします。5ページを御覧ください。1款総務費、1項総務管理費、1目維持管理費です。本年度予算は2,227万4,000円で、前年度より704万2,000円の減としております。基金の積立金の減によるものが主なものになります。

2款環境費、1項環境対策費、1目環境対策費です。本年度予算額は1,848万5,000円で、前年度より460万5,000円の増としております。再生エネルギー補助や防犯灯のLED化の推進を一般会計へ繰り出すものになります。

次に、歳入になります。4ページを御覧ください。4款諸収入、1項収益事業収入、1目売電収入です。本年度予算額は7,138万7,000円で、前年度より270万円の減としております。令和5年度の実績見込みにより作成しております。

6ページを御覧ください。債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額または支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書を載せています。いわゆるゼロ債でございますので、御確認をお願いします。

続きまして、地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書です。区分は太陽光発電事業債、前々年度末現在高は2億3,139万2,000円、前年度末現在高見込額は2億307万円、当該年度中の償還元金見込額は2,823万5,000円、当該年度末現在高見込額は1億7,483万5,000円となります。

以上でございます。御審議のほど、よろしく申し上げます。

○議長（景山 浩君） 建設課長、岡田光政君。

○建設課長（岡田 光政君） 建設課長です。私のほうからは、水道事業会計と下水道事業会計について説明させていただきます。

まず初めに、令和6年度の南部町水道事業会計予算について、別冊の水道事業会計予算書のほうの1ページから順に説明をしたいと思います。議案第23号、令和6年度南部町水道事業会計予算。

総則。第1条、令和6年度南部町水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

業務の予定量。第2条、業務の予定量は、次のとおりとする。（1）給水戸数は4,130件。（2）年間総給水量は110万8,721立方メートル。（3）一日平均給水量は3,038立方メートル。（4）主な建設改良工事は、老朽管路の更新事業を予定しております。

収益的収入及び支出。第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

初めに、収入ですけれども、第1款水道事業収益は2億1,607万3,000円です。内訳は、第1項営業収益は1億8,814万9,000円、第2項営業外収益は2,792万4,000円、第3項特別利益は予定しておりません。

次に、支出ですけれども、第1款水道事業費用は2億674万4,000円です。内訳は、第1項営業費用は1億9,125万9,000円、第2項営業外費用は1,548万円、第3項特別損失は見込んでおりません。第4項予備費は5,000円です。

次に、2ページをお願いします。資本的収入及び支出。第4条、資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額8,365万3,000円は、過年度分損益勘定留保資金をもって補填するものとする。）

初めに、収入です。第1款資本的収入は4,173万3,000円です。内訳は、第1項企業債は3,000万円、第2項出資金は1,173万3,000円です。

次に、支出です。第1款資本的支出は1億2,538万6,000円です。内訳は、第1項建設改良費は5,010万円、第2項企業債償還金は7,528万6,000円です。

企業債。第5条、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおり定める。

起債の目的は老朽施設更新等で、限度額は7,000万円です。起債の方法、利率及び償還の方法は、予算書に記載のとおりでございます。

一時借入れ。第6条、一時借入金の限度額は、3,000万円と定める。

3ページをお願いします。予定支出の各項の経費の金額の流用。第7条、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。(1)収益的支出における各項間の流用。(2)資本的支出における各項間の流用。

議会の議決を経なければ流用することができない経費。第8条、次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。(1)職員給与費541万7,000円です。

他会計からの補助金。第9条、営業助成並びに施設に対する補助金として他会計からこの会計へ補助金を受ける金額は、1,393万4,000円である。

棚卸資産購入限度額。第10条、棚卸資産の購入限度額は、200万円と定める。

それでは、次に10ページをお願いします。令和6年度予定キャッシュ・フロー計算書です。一番下の段になりますけれども、令和6年度末の資金期末残高は4,971万4,000円を見込んでおります。

次に、11ページから19ページまでは給与費明細書を載せております。職員1名分を計上しておりますので、御確認をお願いします。

次に、20ページをお願いします。令和6年度南部町水道事業会計予定貸借対照表です。初めに、資産の部です。1、固定資産と21ページの2、流動資産を合わせまして、資産の合計は20億8,208万7,955円となります。

次に、負債の部です。3、固定負債、4、流動負債、22ページの5、繰延べ収益を合わせまして、負債の合計は12億1,996万6,438円となります。

次に、資本の部です。6、資本金と7、剰余金を合わせまして、23ページの中ほどになりますけれども、資本の合計は8億6,212万1,517円となりまして、負債と資本の合計は20億8,208万7,955円となります。

次に、33ページをお願いいたします。令和6年度南部町水道事業会計予算明細書になります。初めに、収益的収入及び支出の収入です。1款水道事業収益、1項営業収益、1目給水収益の本年度予定額は1億8,582万8,000円で、前年度と比べまして197万5,000円の減額です。

2目その他営業収益は108万2,000円で、前年度と比較しまして5万8,000円の減額です。

3目受託工事収益は50万円で、前年度と同額です。

4 目水道加入金は 7 3 万 9, 0 0 0 円で、前年度と比較して 3 万 5, 0 0 0 円の増額としております。

2 項営業外収益、3 目他会計補助金は 1 2 0 万円で、前年度と比較して 1 2 万円の減額になっております。これは統合前の簡易水道の起債利息償還に対する一般会計からの繰入金になります。

3 4 ページをお願いいたします。次に、支出です。1 款水道事業費用、1 項営業費用、1 目原水及び浄水費の本年度予定額は 5, 4 8 6 万 8, 0 0 0 円で、前年度と比較して 2 7 5 万 1, 0 0 0 円の増額です。これは落合浄水場のろ過設備の修繕を行う予定にしております。

2 目配水及び給水費は 2, 3 8 5 万円で、前年度と比べまして 2 5 4 万 6, 0 0 0 円の減額です。

3 目受託工事費は 2 0 0 万円で、前年度と同額としております。

4 目総係費は 1, 7 1 7 万円で、前年度と比較しまして 5 9 万 5, 0 0 0 円の減額です。前年度に比べてシステムのベンダー変更等によりまして委託料が減額になったことが主な原因になっております。

3 6 ページをお願いします。2 項営業外費用、1 目支払い利息及び企業債取扱諸費の本年度予定額は 1, 0 8 5 万 2, 0 0 0 円で、前年度と比較して 5 3 万 3, 0 0 0 円の減額です。これは起業債の償還利息になっております。

3 7 ページをお願いします。資本的収入及び支出の収入です。1 款資本的収入、1 項企業債、1 目企業債の本年度予定額は 3, 0 0 0 万円で、前年度と比較しまして 5 0 0 万円の減額です。これは進めております老朽管路更新事業に係る起債対象の借入れになっております。

2 項出資金、2 目他会計補助金の本年度予定額は 1, 1 7 3 万 3, 0 0 0 円で、前年度と比較しまして 4 6 8 万円の増額です。これは簡易水道の企業債元金償還及び老朽管路更新事業に伴う消火栓の更新に係る一般会計の繰入金になっております。

3 8 ページをお願いします。次に、支出です。1 款資本的支出、1 項建設改良費、1 目上水道拡張工事の本年度予定額は 4, 7 0 0 万円で、前年度と比較しまして 3 0 0 万円の減額です。これは引き続き老朽管の管路の更新事業を行っておりまして、東西町地区内の工事を進めていきます。

2 目統合前簡易水道拡張工事は 3 0 0 万円で、これは与一谷、八金の計器類の更新を行うように予定しております。

2 項企業債償還金、1 目企業債償還金の本年度予定額は 7, 5 2 8 万 6, 0 0 0 円で、前年度と比較して 2 1 万 4, 0 0 0 円の増額です。これは起債の元金の償還です。

39ページをお願いします。地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書です。区分としまして、1の上水道企業債と2の簡易水道企業債を合わせまして、当該年度増減見込額の当該年度中の起債見込額は3,000万円、償還元金見込額は7,528万4,000円で、令和6年度末の現在高見込額は6億987万4,000円を見込んでおります。

以上でございます。御審議のほど、よろしく申し上げます。

続きまして、議案第24号の令和6年度南部町下水道事業会計について御説明をいたします。令和6年度より地方公営企業法の規定に基づきましてこれまでの農業集落排水事業、浄化槽整備事業及び公共下水道事業を合わせまして南部町下水道事業として公営企業を設置いたします。これに伴いまして南部町下水道事業会計として新たにスタートするものでございます。

それでは、別冊の下水道事業会計予算書の1ページから順に説明してまいります。議案第24号、令和6年度南部町下水道事業会計予算。

総則。第1条、令和6年度南部町下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

業務の予定量。第2条、業務の予定量は、次のとおりとする。(1)接続戸数は4,638戸。(2)年間総排水量は91万3,387立方メートル。(3)一日平均排水量は2,502立方メートル。(4)主な建設改良工事は、東西町浄化センター改築工事の実施設計業務を予定しております。

収益的収入及び支出。第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

初めに、収入です。第1款下水道事業収益は4億1,575万2,000円です。内訳としまして、第1項営業収益は1億6,154万3,000円、第2項営業外収益は2億5,420万9,000円です。

次に、支出です。第2款下水道事業費用は4億2,839万2,000円です。内訳は、第1項営業費用は3億8,361万1,000円、第2項営業外費用は3,713万4,000円、第3項特別損失は759万7,000円、第4項予備費は5万円となります。

次に、2ページをお願いします。資本的収入及び支出。第4条、資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額6,839万1,000円は、当年度分損益勘定留保資金で補填するものとする。)

初めに、収入でございます。第3款下水道事業資本的収入は1億6,417万4,000円です。内訳としまして、第1項企業債6,290万円、第2項他会計出資金は9,013万2,000円、第3項他会計負担金は249万9,000円、第5項補助金は634万3,000円、

第6項負担金等は230万円となります。

次に、支出ですけれども、第4款下水道事業資本的支出は2億3,256万5,000円です。内訳は、第1項建設改良費は1,587万円、第3項企業債償還金は2億1,672万5,000円です。

企業債。第5条、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的は、公共下水道事業、農業集落排水事業、小規模集合排水施設事業及び浄化槽整備事業で、限度額は1億円です。起債の方法、利率及び償還の方法は、予算書の記載のとおりでございます。

3ページをお願いします。一時借入れ。第6条、一時借入金の限度額は、2,000万円と定める。

予定支出の各項の経費の金額の流用。第7条、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。(1)収益的支出における各項間の流用。(2)資本的支出における各項間の流用。

議会の議決を経なければ流用することができない経費。第8条、次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。(1)職員給与費1,660万円です。

他会計からの補助金。第9条、営業助成並びに施設に対する補助金として他会計からこの会計へ補助金を受ける金額は、2億3,862万9,000円である。

それでは、10ページをお願いいたします。令和6年度予定キャッシュ・フロー計算書になります。一番下の段になりますけれども、令和6年度末の資金期末残高は3,148万4,000円を見込んでおります。

次に、11ページから19ページまでは職員の給与費明細書を載せております。職員2名分を計上しておりますので、御確認をお願いいたします。

20ページをお願いします。令和6年度南部町下水道事業会計予定貸借対照表です。初めに、資産の部です。1、固定資産と21ページの2、流動資産を合わせまして、資産の合計は4億4,365万307円になります。

次に、負債の部です。3、固定負債、4、流動負債、22ページの5、繰延べ収益を合わせまして、負債の合計は4億3,723万6,324円となります。

次に、資本の部です。6、資本金と7、剰余金を合わせまして、23ページの中ほどになります。

すけれども、資本の合計は2億641万3,983円となり、負債と資本の合計は48億4,365万307円となります。

次に、28ページをお願いします。令和6年度南部町下水道事業会計予算明細書になります。初めに、収益的収入及び支出の収入です。1款下水道事業収益、1項営業収益、1目下水道使用料の本年度予定額は1億6,100万円としております。

3目受託工事収益は50万円です。

2項営業外収益、2目他会計負担金の本年度予定額は9,561万2,000円です。これは一般会計からの基準内の繰入金になっております。

3目他会計補助金は5,038万6,000円です。これは一般会計からの繰入れになります。

30ページをお願いいたします。次に、支出です。1款下水道事業費用、1項営業費用、1目管渠費の本年度予定額は1,099万6,000円になります。これはマンホールポンプ等の修繕費用等になっております。

2目処理場費は1億1,202万2,000円で、各処理場の維持管理費になります。

3目浄化槽費は4,451万3,000円で、各浄化槽の維持管理費になっております。

5目総係費は2,685万5,000円で、職員の給与費等になっております。

33ページをお願いいたします。2項営業外費用、1目支払い利息及び企業債取扱諸費の本年度予定額は2,490万6,000円で、起業債の償還利息になっております。

34ページをお願いします。資本的収入及び支出の収入です。1款下水道事業資本的収入、1項企業債、1目企業債の本年度予定額は6,290万円で、資本費平準化債の借入れになっております。

2項他会計出資金、1目他会計出資金の本年度予定額は9,013万2,000円で、一般会計の繰入金になります。

3項他会計負担金、1目他会計負担金の本年度予定額は249万9,000円で、一般会計からの基準内繰入金になっております。

5項補助金、1目国庫補助金の本年度予定額は634万3,000円です。

36ページをお願いいたします。次に、支出です。1款下水道事業資本的支出、1項建設改良費、1目工事請負費の本年度予定額は539万円で、合併浄化槽の設置工事費になっております。令和6年度は3基設置の予定にしております。

2目委託料の本年度予定額は1,045万円で、東西町浄化センターの改築工事の実施設計業務委託料を予定しております。

3項企業債償還金、1目企業債元金償還金の本年度予定額は2億1,672万5,000円で
す。

37ページをお願いします。地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度
末における現在高の見込みに関する調書になります。区分としまして、1の公共下水道企業債、
2の農業集落排水企業債、3の小規模集合排水施設企業債及び4の浄化槽整備企業債を合わせま
して、当該年度増減見込額の当該年度中の起債の見込額は6,290万円、償還元金見込額は2
億1,672万4,000円で、令和6年度末の現在高見込額は18億2,422万2,000
円を見込んでおります。

以上でございます。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○議長（景山 浩君） ここで休憩を入れたいと思います。再開は10時40分といたします。

午前10時16分休憩

午前10時40分再開

○議長（景山 浩君） 会議を再開します。

建設課長より説明内容の訂正の申出が出ております。

建設課長、岡田光政君。

○建設課長（岡田 光政君） 建設課長です。先ほど説明させていただきました下水道事業会計の
中で数字の間違がありましたので、訂正をお願いしたいと思います。

予算書の2ページになります。2ページ中ほどになりますけれども、資本的収入及び支出の支
出のところになります。第1項の建設改良費になりますけれども、「1,587万円」と言いま
したが、正しくは「1,584万円」になります。

それから、3ページの中ほどになります。第8条、議会の議決を経なければ流用することので
きない経費のところですが、職員給与費を「1,660万円」と言いましたが、正しくは
「1,666万円」になります。すみません、訂正のほう、よろしくお願いいたします。（発言する
者あり）

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午前10時41分休憩

午前10時41分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

病院事業管理者、足立正久君。

○病院事業管理者（足立 正久君） 病院事業管理者でございます。私のほうからは、令和6年度の病院事業会計予算及び在宅生活支援事業会計予算について御説明をさせていただきます。

最初に、病院事業会計予算について予算書の準備のほどをお願いします。

議案第25号、令和6年度南部町病院事業会計予算。令和6年度の病院事業会計予算につきましては、設置条例の一部改正においてお願いしてまいりましたとおり、附帯事業として新たに介護医療院事業を開始することに伴い、新たな勘定科目を追加して編成をしております。

それでは、1ページをお願いいたします。

総則。第1条、令和6年度南部町病院事業会計予算は、次に定めるところによる。

業務の予定量。第2条、業務の予定量は、次のとおりとする。病院事業、ア、病院病床数178床。内訳は、一般病床49床、療養病床30床、精神病床99床。イ、年間延べ患者数、入院5万8,330人、外来5万1,023人。ウ、一日平均患者数、入院159.8人、外来210人であります。なお、療養病床の一部を介護医療院へ転換したため、療養病床数を20床減少させた数字で算出しております。（2）として介護医療院事業、ア、介護医療院入所定員16人。イ、年間延べ入所者数5,840人。ウ、一日平均入所者数16人、満床を想定して算出しておりますところでございます。

2ページをお願いします。収益的収入及び支出であります。第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入。第1款病院事業収益24億5,320万8,000円。内訳として、第1項医業収益18億2,160万5,000円、第2項医業外収益5億3,579万8,000円、第3項介護医療院事業収益9,580万5,000円。

支出。第1款病院事業費用24億5,320万8,000円。内訳としまして、第1項医業費用23億5,138万6,000円、第2項医業外費用5,284万円、第3項介護医療院事業費用4,898万2,000円。前年度マイナスの1.3%の予算規模となるものでございます。

続きまして、資本的収入及び支出。第4条、資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。（資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億4,772万4,000円は過年度分損益勘定留保資金をもって補填するものとする。）

収入。第1款資本的収入1億8,146万4,000円。内訳としまして、第1項補助金1億4,786万4,000円、第2項企業債3,360万円。

支出。第1款資本的支出3億2,918万8,000円。内訳としまして、第1項建設改良費

7, 723万8, 000円、第2項企業債償還金2億5, 195万円でございます。

続きまして、3ページをお願いいたします。企業債についてです。第5条、起債の目的、限度額、起債方法、利率及び償還の方法は次のとおりと定める。

起債の目的は、医療機器等整備、限度額は3, 360万円。起債の方法、利率、償還の方法は、予算書に記載のとおりでございます。

一時借入金。第6条、一時借入金の限度額は、5億円と定める。昨年度と同額をお願いするものであります。

予定支出の各項の経費の金額の流用。第7条、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。医業費用、医業外費用。

続きまして、議会の議決を経なければ流用できない経費。第8条、次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費をその金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。給与費15億2, 870万9, 000円、交際費74万4, 000円であります。

4ページをお願いします。棚卸資産の購入限度額。第9条、棚卸資産の購入限度額は、1億円と定める。昨年度と同額でございます。

続きまして、予算の概要について説明をさせていただきたいと思っております。資料飛びまして19ページを御覧いただきたいと思っております。当初予算の見積書でございます。主なものを説明させていただきます。最初に、収入ですが、第1項医業収益については、昨年度より8, 926万4, 000円減の18億2, 160万5, 000円としております。主な変動要因は、介護医療院の開設に伴う予算科目の組替えによるものでございます。

第1目入院収益につきましては、他病院、診療所との連携による入院患者数の増や地域包括ケア病床の増床、あるいは医学管理料などの加算項目の取得率の向上を見込み、12億3, 600万8, 000円としております。

また、第2目外来収益につきましては、昨年度とほぼ同額の4億2, 730万8, 000円としているところでございます。

20ページをお願いいたします。第2項の医業外収益についてでございます。医業外収益につきましては、昨年度より4, 007万8, 000円減の5億3, 579万8, 000円としていたるところでございます。主な変動要因としましては、第2目の他会計補助金の減額でございます。

第3項介護医療院事業収益につきましては、介護医療院の開設に伴う科目の新設で皆増の9, 580万5, 000円としております。

以上によりまして、病院事業収益は24億5,320万8,000円となります。

次に、支出でございますけども、21ページを御覧いただきたいと思います。第1項医業費用につきましては、7,810万9,000円の減の23億5,138万6,000円といたしております。主な要因について説明をさせていただきます。

第1目の給与費につきましては、昨年度の人事院勧告を踏まえた給料表の改定及び期末勤勉手当の支給割合の引上げを盛り込んだ上で金額を精査し、昨年度より6,164万7,000円減額の14億8,243万円といたしております。

次に、24ページを御覧いただきたいと思います。よろしいでしょうか。第2目の材料費については、医薬品について後発薬への切替えや価格交渉等を通じて薬品費及び診療材料費を削減し、昨年度より1,522万4,000円減額の1億8,970万5,000円といたしております。

また、第3目の経費につきましては、光熱水費の実績を勘案して予算を積算するとともに、修繕箇所の進捗調整や必要額の精査、医療機器の保守委託料の見直し等を行い、全体としては昨年度より981万4,000円減額の4億8,025万4,000円といたしております。

次に、28ページを御覧いただきたいと思います。介護医療院の関係の費用でございます。第3項として介護医療院事業費用を計上しております。介護医療院の開設に伴う項目の新設で、増の4,898万2,000円といたしております。

第1目の給与は、専従職員8名、看護師、介護福祉士、介護支援専門員を専従とすることとしておりますが、この職員の給料及び手当等を算定し、4,627万9,000円といたしております。

第2目の材料費はおむつ等の診療材料に係る経費を算定し、221万2,000円といたしているところでございます。

以上によりまして、病院事業全体の費用につきましては24億5,320万8,000円となります。

続いて、30ページをお願いいたします。資本的収入及び支出でございます。令和6年度の医療機器の整備につきましては、医療の安全性の確保、医療の質の向上を図る観点から、上部消化管ビデオスコープの購入や、自動血球分析装置等の検査機器の更新整備を行う予定といたしております。これに必要な所要の経費及び財源とする国、県の補助金及び企業債を計上させていただいております。

その他説明等は省略させていただいておりますけども、予定キャッシュ・フローの計算書、予定貸借対照表、給与費明細、企業債残高見込みに関する調書を添付しておりますので、御覧いた

だきたいと思います。

以上、御審議のほど、よろしくお願ひいたします。

続きまして、在宅生活支援事業会計予算の説明をさせていただきたいと思います。予算書のほうの御準備をお願いいたします。よろしいでしょうか。では、議案第26号、令和6年度南部町在宅生活支援事業会計予算。1ページを御覧いただきたいと思います。

総則。第1条、令和6年度南部町在宅生活支援事業会計の予算は、次に定めるところによる。

業務の予定量。第2条、業務の予定量は、次のとおりとする。訪問看護事業、介護保険対象者1,600回、医療保険対象者3,430回。

次に、収益的収入及び支出でございます。第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入。第1款在宅生活支援事業収益4,722万7,000円。内訳は、第1項訪問看護収益4,682万6,000円、第2項その他収益40万1,000円。

支出。第1款在宅生活支援事業費用4,722万7,000円、第1項訪問看護費用4,722万7,000円でございます。

2ページをお願いいたします。一時借入金についてでございます。第4条、一時借入金の限度額は、200万円と定める。前年度と同額をお願いするものであります。

議会の議決を経なければ流用できない経費。第5条、次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、またはそれ以外の経費をその金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。給与費4,205万7,000円。

棚卸資産の購入限度額。第6条、棚卸資産の購入限度額は、22万円と定める。

次に、主な予算の概要について説明をさせていただきたいと思います。13ページを御覧いただきたいと思います。予算の見積書で御説明をさせていただきます。よろしいでしょうか。では、最初に収入ですが、第1款在宅生活支援事業収益については、昨年度より35万3,000円増額の4,722万7,000円といたしております。

第1項、主な内容ですが、訪問看護につきまして日中あるいは高齢者世帯での服薬管理が難しい方々の利用が増えてることを踏まえ、居宅介護収益につきまして264万2,000円増額し、1,184万円としておるところでございます。

第2目の訪問看護療養収益、これ医療保険の分野に係るものですが、今年度、令和5年度の実績を踏まえて単価を見直した上で228万9,000円の減額をし、3,498万6,000円と見込んでおるところでございます。

14ページを御覧いただきたいと思います。歳出、費用についてでございます。第1項訪問看護費用につきましては、第1目の給与費について、これも病院事業と同様でございますが、昨年度の人事院勧告を踏まえた給料表の改定及び期末勤勉手当の支給割合の引上げを踏まえまして、4,205万7,000円としているところでございます。

また、第3目の経費につきましては、ガソリン代の高騰等を踏まえ、自動車燃料費を増額するなど必要経費を算定し、502万円の予算といたしているところでございます。

なお、訪問看護に関しましては在宅生活、あるいは在宅医療を支える上で要となる事業でございますので、町民の皆様の要望にしっかり対応してまいりたいと考えているところでございます。

そのほか、予定キャッシュ・フロー計算書、予定貸借対照表、給与費明細書等を添付しておりますので、御覧いただければと思います。

以上、御審議のほど、よろしくお願いたします。

○議長（景山 浩君） 副町長、土江一史君。

○副町長（土江 一史君） 副町長でございます。議案書のほうをお願いいたします。議案書の23ページをお願いいたします。議案第27号、南部町と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議についてです。

次のとおり南部町と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定めることに関し協議することについて、地方自治法第252条の14第3項において準用する同法第252条の2の2第3項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第1号で御説明したとおり、情報公開及び個人情報に関する開示決定の処分等に対する審査請求に係る審査会の機能については、令和6年度から鳥取県へ事務委託することで関係機関と調整し、準備が整ったところです。このことに伴って南部町と鳥取県の間において個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約について協議を行うものでございます。

規約の案につきましては、別紙に記載してのとおりでございます。御審議よろしくお願いたします。

続きまして、26ページをお願いいたします。議案第28号、南部町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議についてです。

次のとおり南部町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議

制の機関に係る事務の委託に関する規約を定めることに関し協議することについて、地方自治法第252条の14第3項において準用する同法第252条の2の2第3項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第1号及び議案第27号で御説明したとおり、情報公開及び個人情報に関する開示決定の処分等に対する審査請求に係る審査会の機能については、令和6年度から鳥取県へ事務委託することで関係機関と調整し、準備が整ったところです。このことに伴って鳥取県と規約の締結を行うものですが、当議案は情報公開条例及び議会個人情報保護条例に係る事務を委託するための規約について協議を行うものです。

規約の案については、別紙に記載のとおりでございます。御審議よろしくお願いいたします。

続きまして、29ページをお願いいたします。議案第29号及び議案第30号は、公の施設の指定管理者の指定についての議案でございます。2月8日に指定管理候補者選定委員会を開催して審査をいただき、このたび議案として上程をさせていただくものでございます。

議案第29号、公の施設の指定管理者の指定について。

次のとおり公の施設の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

公の施設の名称は、南部町介護研修施設。指定管理者となる団体は、社会福祉法人伯耆の国。指定の期間は、令和6年6月1日から令和11年5月31日まででございます。

続きまして、30ページをお願いします。議案第30号、公の施設の指定管理者の指定について。

次のとおり公の施設の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

公の施設の名称は、南部町地域農産物加工施設めぐみの里。指定管理者となる団体は、農事組合法人西伯町山菜生産加工組合。指定の期間は、令和6年4月1日から令和9年3月31日まででございます。

以上、よろしく御審議をお願いいたします。

31ページをお願いします。議案第31号、区域外における公の施設の廃止に関する協議についてです。

次のとおり鳥根県安来市須山に設置した区域外の公の施設を廃止することに関し協議することについて、地方自治法第244条の3第3項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

このたび、安来市との協議の中で利用者が少ないこと等を理由に須山バス停の廃止について検討をすることとなりました。双方の地域公共交通会議での了解を経ており、議会の議決を求めるものでございます。

廃止に関する協議書案については、別紙のとおりでございます。御審議よろしくお願ひいたします。

続きまして、33ページをお願いします。議案第32号、財産の無償貸付についてです。次のとおり財産を無償で貸し付けることについて、地方自治法第96条第1項第6号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第17号で御説明したとおり、南部町老人憩の家は城山区と建物譲渡について協議が調いありましたので、条例廃止の御提案をしているところです。本議案では、南部町老人憩の家の建物を城山区の集会所として使用することに伴って、建物用地部分の土地について無償で城山区へ貸し付けることについて議会の議決を求めるものでございます。

貸付土地、西伯郡南部町鴨部字下河原1585番地1。貸付面積577.5平方メートル。貸付金額、無償。貸付期間、令和6年4月1日から令和16年3月31日まで。貸付相手方、城山区自治会。

以上でございます。よろしく御審議お願ひいたします。

続きまして、34ページをお願いします。町道路線の認定でございます。

次のとおり町道の路線を認定することについて、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

これは新たに町道として新規路線の認定をお願いするものです。

路線名、起点及び終点については、議案書に記載のとおりです。御審議よろしくお願ひいたします。以上でございます。

日程第19 上程議案に対する質疑

○議長（景山 浩君） 日程第19、上程議案に対する質疑。

昨日6日より、町長から上程議案の提案説明がありました。

これより、上程議案に対する質疑を行います。

質疑は、会議規則第54条第1項に規定されているとおり、簡明に、かつ、疑問点のみについて行ってください。

また、個別質疑につきましては予算決算常任委員会で行うこととなりますので、総括的な質疑

のみをお願いいたします。

議案第 2 号、令和 5 年度南部町一般会計補正予算（第 8 号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 3 号、令和 5 年度南部町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 4 号、令和 5 年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 5 号、令和 5 年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 6 号、令和 5 年度南部町太陽光発電事業特別会計補正予算（第 3 号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 7 号、令和 5 年度南部町水道事業会計補正予算（第 3 号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 8 号、令和 5 年度南部町病院事業会計補正予算（第 4 号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 9 号、令和 5 年度南部町在宅生活支援事業会計補正予算（第 2 号）、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 10 号、南部町情報公開条例等の一部改正について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第 11 号、南部町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について。

13 番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 今回の議案第11号は、南部町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を変えるということで、いわゆる特別職の町長、副町長、教育長、病院事業管理者等の期末手当等の引上げというところです。

町長にお聞きしたいのは、これは人勸等で一般職のところに合わせたというふうに説明があったんですけども、今の住民の暮らしから考えた場合に、特に特別職の手当等を上げることの是非というのはやはり住民から問われてくるのではないかというふうに思うんですよね。そういう意味で町長のお考えを聞いておきたいと思います。どうでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。特別職の報酬審議会を通じて、今回町長並びに関係職員の給与に対する答申をいただきました。町長としましては、この答申に基づきその都度きちんと給与改定をすることが他の全ての賃金や労働条件に大きな影響を与えるという具合に考えております。町民の皆様の暮らしのことも十分考えながら責任を持った対応したいと、このように思っています。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 人勸に伴って上げていくというところを守りたいということなんですけども、一般職と特別職というのは仕組みが違うと思うんですよね。

この間も住民と話してるときに、一体、町長さんたちの報酬って幾らぐらいだって話したときに退職金の話も出ました。退職金も100分の500でしたっけ。今回審査するに当たって、ということは特別職の方々というのは報酬並びに期末手当と退職金も影響してくるものですから、退職金がどのような仕組みで出されているのかということ委員会を審議できるように資料を求めたいと思うんですが、どうでしょうか。よろしくお願いします。

○議長（景山 浩君） 請求のみですね。

○議員（13番 真壁 容子君） はい。

○議長（景山 浩君） 総務課長、大塚壮君。

○総務課長（大塚 壮君） 総務課長です。今、請求がありました件については御用意をさせていただきます。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第12号、南部町議会議員及び南部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第13号、南部町がんばれふるさと寄付条例の一部改正について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第14号、南部町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正について、質疑はありませんか。（「一つ」と呼ぶ者あり）

11番、細田元教君。

○議員（11番 細田 元教君） この件については、須山がなくなるっていうことはちょっと後で委員会で詳しく聞きますが、あとこれ別表第3の中で下阿賀を東西町コミュニティセンター、境、坂根、下阿賀と改める、デマンドのバスができるようになると。いいことですが、ちょっと不安なのは、こういうことが全町でデマンドバスが出るようになれば、日ノ丸バスが撤退するへんかなと思ったりして勘ぐりますけども、そのようなうわさとか案件は今起こっておりませんわね。その確認だけです。

○議長（景山 浩君） 企画政策課長、田村誠君。

○企画政策課長（田村 誠君） 企画政策課長です。日ノ丸バスとのそのような案件は起きておりません。以上です。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第15号、南部町コテージ条例の一部改正について、質疑はありますか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 南部町のコテージ条例について、私は今、新旧対照表を見ながら質問しております。どれぐらい上げるかっていうのはここでは確認できるんですけども、この考え方をちょっと述べていただきたい。

例えばこのコテージは指定管理しているわけですよね。指定管理先からどういう理由で、例えば料金を引き上げるときには必ず公の施設ですから町条例で、議会で審査をするんですけども、こういうときの考え方です。どういう資料が出てきて、どういう考え方でこの引上げもよしとするという判断基準というのは、町は持っているんでしょうか。この施設は一体何のためにできたかっていうことと、含めることと、指定管理先のほうはこういうふうに認めていただかないと赤字が生じるとか、運営上どうかって、そういう判断なんですか。町の考えを聞きたいんですよ。

○議長（景山 浩君） 産業課長、藤原宰君。

○産業課長（藤原 宰君） 産業課長です。このたびの条例改正につきましては、これより以前に、令和5年度にまずは新しくリニューアルしたところのコテージの料金改定をさせていただきました。その際には、ちょっと既設のコテージ等については特に改定のほうには至ってはいないんですけども、その辺のバランスなどを考えたところが1点と、それから指定管理先の緑水園ですけども、こちらのほうが経営分析のほうを、緑水園本体のほうもですけども、この令和5年度に行われております、企業が入られてですね。その際にこのコテージという施設につきましては、基本的には集客施設で収益が上がる施設であるという分析結果が出ています。ただ、その費用対効果については、今の料金体系ではほかの周辺施設、類似施設と見比べても非常に効果が上がらない状況があるという、そういうアドバイスをいただきながら、指定管理先の緑水園のほうとしてもその分析結果を基に町のほうに御相談がありまして、それを基に適正な価格というか、これぐらいの価格でないともまずいであろうというものを出して御相談をした結果をこのたび上げさせていただいております。

副町長の提案説明の中にもあったんですけども、お一人の料金ですとか2人の料金ですか、ちょっと今、バランスがありましたけれども、こういった1人で泊まっていたら、この現状の料金体系ですと非常にコストがかかり過ぎているというような細かな分析も聞いておりまして、それを総体的に出した結果がこのたびの提案内容ということになっております。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 緑水園がこのコテージを運営するに当たって全体的な分析をして、計画を立ててこれぐらいの金額になるということを出してきたというので、委員会では緑水園が出してきた資料等を求めたいと思います。よろしく願いいたします。どうですか、議長。

○議長（景山 浩君） 産業課長、藤原宰君。

○産業課長（藤原 宰君） 産業課長です。準備をさせていただきたいと思います。

○議長（景山 浩君） 細田議員はよろしかったですか。

○議員（11番 細田 元教君） 同じことだった。

○議長（景山 浩君） 10番、板井隆君。

○議員（10番 板井 隆君） 10番、板井です。これ町長に確認取っておきたいんですけど、このコテージ、町民も使うの施設だと思うんです。この金額で町民の方がどれだけの利用があるだろうか。この金額を上げることによって町民の方が使いにくくなるような料金改定ならば、これはある程度そういった町民の方用の料金も定めるとか、そういったことは考えがなかったです

か。

○議長（景山 浩君） 産業課長、藤原宰君。

○産業課長（藤原 宰君） 産業課長です。このたびの条例改正の提案については、一応、基本的な料金設定をお示しをさせていただくものになっているというふうに考えています。その中で0.5から2.0までのシーズンに応じた、換算に応じた料金設定をさせていただくという提案もあります。

それとは別に、町民向けの料金体系というのも別途協議はする必要があるという認識は持っておりますので、今回提示させていただいた金額というのはあくまで条例で示させていただく金額ということの認識で、この後の運用につきましてはシーズンごとの料金設定と、それから町民向けの料金ということを考えさせていただくことを考えております。

○議長（景山 浩君） 10番、板井隆君。

○議員（10番 板井 隆君） 10番、板井です。今度委員会の中でそういったことも提案をされるというふうに受け取っておいていいですか。

○議長（景山 浩君） 産業課長、藤原宰君。

○産業課長（藤原 宰君） 産業課長です。現時点ではいついつこの時期はお幾らで計画をしていますというものをしっかりと持ち合わせておりません。今考え方を申し上げたところですので、この御説明はさせていただきますが、明確な金額提示というのはちょっと難しいというふうに御判断いただきたいと思います。

○議長（景山 浩君） 10番、板井隆君。

○議員（10番 板井 隆君） この基本の料金だけを出してここで議会で通せっていうのはちょっと僕らにとっては少し結論を出しにくい。やっぱりある程度の使いやすさというものも求めたものも出してほしいと思いますので、よろしくをお願いします。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第16号、南部町病院事業の設置に関する条例の一部改正について、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 議案第16号の病院事業の設置に関する条例の一部改正について、これが介護医療院ができることについての条例改正です。中身については委員会で病院のほうから聞き取りいたしますので、町長にお伺いいたします。西伯病院の一部を介護医療院事業として

介護医療院さくらで、定員16名で今後行っていくと。それについての病院でのいわゆる費用と収入等についても予算上で出てきていました。

私は、町長にお聞きしたいのは、町長は介護保険等でも地域包括ケアを進めながら、本当住みよい、安心して住み続けられる町を目指すというふうに言っています。今回、この介護医療院が町内にできたということについて、町長はどのように考えているかっていうこと一つと、もう一つは、介護医療院ができて結構お金がかかるわけなんですよ。今度の委員会でいわゆる補足給付等の問題も聞いていくんですけども、町内にできたときに町立病院を利用する町内の方々でここで仮に補足給付等をもらってもなかなか大変な人たちが出てきた場合には、町独自で何らかの形で支援していくという方法について何か考えているのかという点です。施設ができるのはいいですけども、多くの方々が自分たちの年金だけでは入っていけないっていうようなことを言ってるわけですね。そこについては本当安心して住めていくというのであれば、財政的な支援等も考える必要があるのではないかと思うんですが、町長はどのように考えていますか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。医療と介護の統合というものがこれからの2040年問題に向けて今議論がなされ、その方向性を強く押し出されています。その中で、西伯病院がこれまでの医療一本から、その施設の中に介護の部門を入れていただいたことに対して、その判断に敬意を表したいと思っています。

過去からずっとありましたけれども、やはり医療の中に介護を入れるということは、なかなか敷居が、門戸を開かれなかったといったところに医師陣が一定の理解を示し、町民のこれからの福祉のために病院を、一定の中で介護を入れていこうといったことは、私にとってはもう一大、大きな決断だったという具合に思っています。その中で16人分ではございますけれども、介護の施設ができたということについて町民の安心感は格段に上がるというふうに思っております。

今後、先ほどのいわゆる補足給付、非常に収益の、収入のない皆さん方に対して公的に負担するもの、これについては当然考えていかななくてはいけないことだと思いますけど、それ以上のことについては今後のこの議会の中で、個別の案件に対して暮らしをどう支えていくのかという議論になろうと思っています。その利用される方、またはされない方、町外でされる方、されない方、多様な皆さんがおられますので、皆さんの暮らしを守るという視点は十分ですけども、その間であって公平性が担保される必要もあろうと思っています。多様な面で検討してまいりたいと思っています。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） ということは、町長は、高齢者の独居の方とかたくさんいらっしゃるんですけども、低所得者対策は何らかの形で取っていきたいと、今後の議論だって取っていきたいと、必要だという認識はありますか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。福祉政策の中で介護保険が負担をするこのような介護医療院の制度、さらにはそれ以外の町が行政の福祉としてする制度、この辺りをトータルで考えなければ単純にはいえないことだろうと思っています。介護保険でやるところに行政が押し込んだために、介護保険制度がいびつな形になることは極力避けなければならないと思っています。そうではなく、それ以外の部分で福祉政策っていうのはたくさんのもんでやっております。行政が直接できるかどうかといったことも含めながら、これは真剣に考えていく必要があると思いますが、今ここで軽々に、福祉政策の中に町が独自で補填をしてでも暮らしを守るということは単純には申し上げられない。個別の具体的な例についてこの議会の中で御審議いただきたいと思っています。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 私が言っておりますのは、介護保険法で余分に足を出していくということちょっと難しい。西伯病院に求めていくと難しい、経営ですからね。いって社会福祉法に基づいて従来の措置制度の中身を生かして、そういう意味でいえば町内には入りたくっても入れない、安心してって安心できない財政面で、方がいらっしゃるわけですよ。その方々がせっかく町でできたものに入りたいというときに財政面のことがあれば、介護保険とか西伯病院の経営等無視で町としての施策、低所得者対策を取る必要があるのではないかと聞いているんですよ。

○議長（景山 浩君） 真壁議員、意見は控えてください。

○議員（13番 真壁 容子君） はい。それどうですか。取る必要があるのではないかとすることは、今の高齢者の実態をどう考えていますか。それも聞きたい。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。包括的にやはり考える必要があろうと思っています。1点のものにフォーカスをしたのではやはり大きな、福祉政策に誤りが生じるといけませんので、住民の全体を見ながら個別の具体についてはその都度その事業について精査をしていく必要があろうと思っています。基本的には補足給付という制度の中で考えるべきだと思いますけれども、何度も言うようにですけども、これに漏れるような事態については個別に議論をする必要があろうと思っています。その制度の必要性についても議会の中から御提案いただければいいのではないかと

と思っています。

○議長（景山 浩君） 11番、細田元教君。

○議員（11番 細田 元教君） 11番、細田です。やっと我が町に中間施設のような介護医療院ができて、大変町長と同じ気持ちで病院の大英断を祝したいと思いますが、町長、これだけで高齢者の人や低所得者、特に南部町では……（サイレン吹鳴）国保会計も御存じだと思いますけども、6割強の方が減免所帯なんですね。要はそんだけ低所得者が多いということなんです。そういう人たちに病院をぜひとも利用していただき、この福祉を介護医療院と福祉でやっていただきますけども、どうしてもまだこれだけじゃあ、町長、ちょっと足らんと思います。

西伯病院に入院して、またこういういろいろして、最後まで安心だって、町長は安心して云々と言われましたが、必要な、どうしてもそうだ、住まいとか必要になってくるとは思いますけど、それとか医療療養型がまだ残っております。これは国のほうからメスが入れればどうしても転換せないけんやになると思いますけども、そのような大きな気持ちで町民を西伯病院で治療して、入院して、医療院になって、また福祉関係で住まいとかできて、最後まで面倒見れるというような考えはお持ちじゃないでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。介護医療院の住まいという機能というのは、私は大きいと思っています。198床の西伯病院から、今度その病床を減らして介護医療院16床を造ります。その中でもし医療が必要になれば、水平移動して同じ建物の中の医療のサービスが受けられるという安心感というのは代え難いものがあると思っています。町民の暮らし、そして安心や安全に大きく寄与すると思っています。ただ、この16という病床やこれからの住まいの問題については、また違った意味で検討も必要だろうと思っています。高齢化はまだまだ進みますので、皆さんと御議論いただきたいと思っています。

○議長（景山 浩君） 議案第17号、南部町老人憩の家条例の廃止について。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） この17号の老人憩の家条例の廃止については、議案第32号の財産の無償貸付け等も関連があるんですけども、17号のところで委員会に入る前に町長に聞いておきたいのは、町長は所信表明の中ででも今後この統廃合等を進めていくってというようなことを言っているわけですよね。老人憩の家の条例の廃止で、住民の方々が使う施設になるということには住民との合意ができていくということなんですけれども、例えば老朽化した老人憩の家をどなたか、区であったり個人であったり、今度する場合もあると思うんですけども、こういう場

合、この運営費用というのはその頂いたとこの負担になるわけですね。

住民から見ればその今度維持費、管理費等が要るんですけども、例えばこの廃止するときには相手方と、これをもしかしたら老朽した場合、もう壊さないといけないとかなったときもそれは地元でやれということなんですか。特に土地は町のもんですよね。そういうときの話し合いって、してるわけですか。それを相当に、建て替え等をするかどうかというの、地元の判断かもしれませんが、町が建てたものを、言ってみたらもう何年もたってるもんですよね。そのときの何か支援措置とかそういうのは取らないで、もうどんどんどんどん公共施設を渡してしまうという考えなんですか。その辺の考え方、ちょっと教えてくださいませんか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。包括的な細かいところは私は分かり得ないところがありますので、大きな観点から申し上げます。

公共施設の中で、こういう公民館の機能を持ってこれからも使っていけるような施設は、地域の皆さんがもし希望いただけるのであれば、公共的な機能を失ったものについては、地域の中で使っていく御意思があればぜひ無償で使っていただく、こういうことをしていきたいと思っています。

あと、取壊しの問題等もあるかもしれませんが、この問題については原則町として負担することはできないと思っています。もしするのであれば、それは包括的にやっていかなければならないことだろうと思っています。現在でもある自治会の中にはそういう施設もお持ちのところありますので、これを一律行政が責任を持って撤去をするということにはならないと思っています。もらっていた限りにおいては、現時点ではこれは撤去の部分に、または撤去しないということも判断かもしれませんが、使い切るということもあるかもしれませんが、当面の間は使い切っていただく、そして撤去については行政として費用は負担しない、現時点ではこのように考えています。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 詳しいことは委員会で聞くので、町長の考えを聞いておきたいのは、今後こういう施設が出てきた場合、公民館とかにはいいよと喜んであげますよって言いますが、住民にとって一番いい方法は、未来、将来にわたって無償で土地も建物も借りておく。無償で貸してくれ。なぜならば、持ちちゃったらその分の維持管理費が区の費用としてかかってくるわけですよ。私は、統合・整理とするときも住民負担増のことについて考えておかなければ、今の暮らしを見て大変深刻になってくるなと思って、人口も少なくなってくるし。それ考えた

ときに、喜んであげるのではなくって、もう喜んで無償で使ってもらう、あげるんじゃないかって。それで壊すときは町が責任持って壊すっていうことすることが一番合理的だと思うんですよ。

○議長（景山 浩君） 真壁議員……。

○議員（13番 真壁 容子君） はい、いや、意見言ったらいけませんね。そういう考えもありますが、どうでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。一つ一つのことにはお答えできませんけども、町内の中には90を超える自治会が造られた施設があります。その中でそれぞれが取り壊すときには御自分の責任で取り壊しておられる。公共施設を無償で貸した分については、責任を持って町が税金を使って取り壊すというその判断は現時点ではできないと思っています。したがって、それは何年後になるか分かりませんが、長い時間の中でいろいろな御議論もいただかなければなりませんけども、今ここで初めて公共施設を公民館として使う、それも私の記憶では20年来の議論を重ねて重ねてのこの到達点でございます。ここで将来にわたってじゃあ町が責任持ちますということはいえないと思っています。ぜひ、地域の中でそこまで決断をいただきましたので、有効に御利用いただきたいと思っています。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第18号、令和6年度南部町一般会計予算、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 南部町一般会計予算、詳しいことは委員会で聞くことになると思いますが、2点町長にお伺いします。

町長は、令和6年度の予算編成に当たり予算説明を昨日されました。その中で、もし文、開けてる方がいましたら、15ページのところで今後の在り方として適切な負担の検証や公共施設の利用料金などを利用者負担の見直しを行っていききたいと。これ大前提は、人口減になるから、もちろん建物も適切な管理をしていくんだけど、今後の負担の検証だって言っているわけですね。これは財政の入りところで言ってる。入りと出るとやったんですけども、財政収入のところで適切な利用料金など、利用者負担の見直しを行っていくと。ということは、お聞きしてるときに、聞いたら、入りですから、人口減って言ってるから、これ利用料について上げることを考えているのかなと思ったのですが、どういうことがあってこういうことを言われているのでしょうか。それをお伺いしたいというのが1点です。

もう一点は、今回、予算説明の中にもありましたように、一般会計が81億5,300万円です。今までにない当初予算としては80億を超えてきた予算を組まれてきました。それで、その中で歳入のほうでの予算の分析をしたところ、いわゆる自主財源と言われてるところでのものが非常に少ないということで、町税では12%の9億8,000万だということですよね。少なくとも自主財源である税金というのは公平に取られなければならないし、ここでする仕事というのは税金を納める、特に地方税を納める、それを集める町としては徴税というのは本当に公平でなければならないし、実際やっていかなければ町政成り立たないというところから、今、税の申告を行っているといるんですけども、全国的に今、国会で起こってるパーティー券の問題などから、税金を申告すること自体があほらしいという意見出てるわけですよ。

一つには、今やっていますけども、町の中で税務の相談しながらそういう声が聞こえてきましたかという点と、町長、この本来守らないといけない国会議員や、模範になるべき人たちが堂々と記載がなくなってもいいんだ、領収がなくなってもいいんだというようなこと言っていて、私たちには1円からの領収を求めるわけですよ。こういう不公平さを許して町政の徴税義務が成り立つのか、その点を町長、どんなふうにお考えですか。

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午前11時42分休憩

.....

午前11時42分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 公共料金の見直し一本だけの話ではありませんで、入るを量りていずるを制すということを考えれば、単価掛ける人数、その人数部分が減少していきます。結局、入るが減っていくということになります。人口が減少する社会の中で、その減った結果の中で大騒ぎをしても既に手後れということになりかねませんので、今の人口、現在約1万二百数十人のこの中でマネジメントできることをしっかり考えながら、その目先には将来推計である7,000人台の町のマネジメントも考えていく必要があるだろうということだろうと思っています。現在、81億を人数で割ったものが、将来は分母が減ったときに本当に負担できるのかどうかもあります。サービスは十分にしなければなりませんけれども、御負担いただく点については真摯に私どもも提案し、御理解をいただく必要があるだろうと思っています。そういう意味で勇気を持って公共料金審議会等にかけてながら御判断をいただきたいと思っています。

政治問題の今現在、毎日のように新聞、テレビでやっている問題については、いろいろな御批判もあろうと私も思います。徴税は各地方自治の根幹でございますので、誤りや間違いのない信頼の置けるような徴税に努めることは改めて私からも申し上げ、町民の皆様の御理解をいただきたいと思っています。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） いわゆる公共料金の見直しという件ですけれども、私は、お聞きしたのは、町長、これは公共料金を見直すというのは引き上げということやってるんですかっていうのは、そのように取っていいわけですよ、勇気を持って公共料金審議会にかけたいと。どういう内容をかけるのか知りませんが、そういうことを言っているわけですよ。

そこでお聞きするんですけれども、人口が減ってきたら公共料金を2倍、3倍増やさなければ町村は成り立たないのか、そういう考えが地方自治の在り方なんですかということを知りたいんですよ。地方交付税は何のためにあるんでしょうか。

答弁の参考までに、先日、鳥取県に行って町村別の普通交付税の決定額を聞いてきたんですよ。ここでは、南部町は現時点、その時点で令和4年に聞いてきたんですけども、31億。伯耆町、隣が人口変わりませんが、35億9,500、約36億、ここで5億円の差がついてますよ。日南町、人口半分以下ですよ。29億です。何が物語ってるかということ、少なくとも今の日本の地方自治は、人口少なかりが最低限のことはできるように、標準化するために地方交付税ってあると思うんです。それを行使してないものをもらってこないといけない町長が人口減になったら公共料金上げるんだって、これは非常に乱暴な意見だと思うんですよ。

○議長（景山 浩君） 真壁議員……。

○議員（13番 真壁 容子君） はい、ごめんなさい。住民が心配でたまらない、こういうこと言われたら。本来の地方自治の在り方ではないんじゃないか、このことについて、町長、私はこれ訂正されたほうがいいと思うんですよ、なぜ人口少なくなって公共料金見直しなのか。

○議長（景山 浩君） 真壁議員、議案に対しての質疑をお願いします。

○議員（13番 真壁 容子君） はい、すみません。それについてどうなんでしょうか。

それと、もう一つ、先ほどの徴税の件で、今、国会で問題になってパーティー券とかいろいろ言ったんですけども、議員と同じように特別職の方々は特別職ですから、政治的な判断を聞かれたときに私は答える責任あると思ってるんですよ。国政問題やって言いますが、私たちの税金がどう使われているかという問題だと思うんです。所得税かって上げてるんですから、国に。そういう意味では、本来、税金をちゃんと守っていかなくちゃいけない地方自治体の長とかが今の在

り方はやめてくれ……。

○議長（景山 浩君） 真壁議員、御意見を述べられるのはやめてください。

○議員（13番 真壁 容子君） はい、すみません、そういうことを言うべきじゃないでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。交付税の在り方については議員のおっしゃるとおりです。小さくても、2,000人の町であろうと、横浜のような大都市であろうとこの運営に補填をする、そのための地方交付税であると。したがって、その地方交付税について私どもも行政として多様な観点から1円でも多くの交付税を獲得すること、そのことによって住民の暮らし、負担を減らすということについては、もう当然ベースにあることだろうと思っております。

私が申し上げましたのは、人口が減少する社会の中で一気にたくさんの方がそうなります。今、過疎債を取ってる町が1,718自治体のうちの半分以上を超えました。過疎債も重要な案件ですけれども、私ども南部町は先人たちの努力もあって過疎債の該当になる町ではありません。極めて県内では少なくなりました。そういう町にあって私どもは私どもの町のマネジメントを考えていかなければならない。決して過疎債が適当だと私はここでは言いませんけれども、しかし、運営するためにはいろいろな、多様な補助や交付金があるにこしたことはない。しかし、そうでなかった場合にはそれなりの町民との議論を通じて、運営するためのお金の収受というのは必要になってくると思っております。一概に何の公共料金を上げるんだとか上げないだろうかという乱暴な話はここではできませんけれども、そういう御負担もいただくことを前提にしながら議論を進めていくということが大事なんだろうと思っております。むやみに、万全でございますといいながら人口が減って行って、これまで提供できたサービスができなくなりましたという、このような無責任なものをすることを避けるためにも将来にわたって公共料金審議会等を含めながら、住民の皆さんに公共料金の在り方や利用料金の在り方を問い続けていく姿勢というのは、私は勇気を持ってし続けなければならないと思っております。

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午前11時48分休憩

午前11時50分再開

○議長（景山 浩君） では、再開します。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） あとの2つの件については、できるところで委員会でもまた言いたいと思います。

ここで私、資料の提出を求めていると思うのですが、よろしいでしょうか。予算を審査する折に国庫支出金等出ております。デジタル田園都市国家構想交付金、どのようなものに使われているのかということが予算書の中では別々に出てくるんですけども、それがどのように使われているのかということを知りたいし、今回上がってきたほかの分、デジタル田園構想の交付金は地方創生タイプと実装タイプがありますが、特に地方創生の推進タイプではどういうところに該当しているのかという点ですね。

それから、これまで行っておりました地方創生の交付金というのは名前が変わったのでしょうか。地方創生交付金等で割り振りしているものがあれば出していただきたいということです。

もう一つは、特別交付税が今回何ぼでしたっけ、5億円でしたっけ、出されているんですけども、特交については予算ですけども、何に使われているかというのがほぼ積算で出ますよね。それを出していただきたい。

それはもう一点それ、地域振興協議会についてのお金ですね、これについての各地域振興協議会ごとの分を出していただきたいという点ですけども、出ますでしょうか。よろしく願います。

○議長（景山 浩君） まだ続きますか。（発言する者あり）

総務課長、大塚壮君。

○総務課長（大塚 壮君） 総務課長でございます。各それぞれの交付金であろうとか、特別交付税の件につきましては、できる限り御用意をさせていただきたいと思っています。以上です。

○議長（景山 浩君） 企画政策課長、田村誠君。

○企画政策課長（田村 誠君） 企画政策課長です。地域振興協議会の交付金の内訳についても準備させていただきます。

○議長（景山 浩君） ほかに、執行部はもういいですね。

11番、細田元教君。

○議員（11番 細田 元教君） 俺、一つだけだよ。今回、総務課長のこの一般会計の説明の中ですげえなと思ったのは、交付税がアップになっちゃうですがんな。これ見ましたら1億1,100万も前年度に比べて普通交付税が余計入っているようになった。これは課長は新しいメニューでいろいろ言われましたけども、これら財政需要額の中でメニューが増えてこれが該当するようになった、このように1億1,000万も入るようになったというように解釈していいのか、ま

たほかの原因があるのかを教えてくださいませんか。

○議長（景山 浩君） 総務課長、大塚壮君。

○総務課長（大塚 壮君） 総務課長です。令和6年度からこの交付税につきましては子ども子育て費っていうものが新設になっております。それと併せて人件費ですとか、物価高騰による全体的な基準財政需要額が増加していますということも踏まえまして、若干といいますか、1億ほどのアップを見込んでいるということでございます。

○議長（景山 浩君） 11番、細田元教君。

○議員（11番 細田 元教君） そうじゃないかなと思ひまして、その中で子育て関係の中であるってことははっきり言われ……。また一般質問の中に入ってますので、あんまり言いませんけども、この中でどうしても、今度は子供の関係でトイレ改修とか、防犯カメラとか云々ありますけども、子供のためにね。あんなのは今度、交付税やちに絡めればまた財源が浮いて、また別なメニューが考えられるんじゃないかなと推測いたしますが、このような考えはありませんか。

○議長（景山 浩君） 総務課長、大塚壮君。

○総務課長（大塚 壮君） 総務課長でございます。一般会計のほうでも申し上げましたけれども、財源的にはいろいろあろうかと思ひますので、それでも足りないところを独自でやっていくというのが交付税の用途かなというふうに思っています。ただ、令和6年度からこの子ども子育て費っていうのが新設されて算定はされますけれども、その詳細についてはまだこちらのほうに届いていませんので、そういった場面でまたやらせていただきたいと思ひてます。（「もう一点」と呼ぶ者あり）

○議長（景山 浩君） 11番、細田元教君。

○議員（11番 細田 元教君） その中でもう一つ、説明の中で大変な、怖いなと思ひたのが、基金がすごく目減りし出したんですけれども、この体制についての考えを本年度からでも考えられますでしょうか。そうせんと、真壁議員とよう一緒になりますけれども、考えは人口減少の中で、いろんな今の状態の中で事業をやっていくなれば、どうしてもこの基金食べないけんやになる。そういうことでまだ、基金もためるばかりが能じゃないしと思ひますけれども、基金使うのも能だないと思ひます。この微妙なさじ加減というのは今、今年から私は必要でないかと思ひますけれども、町長はその辺をどのようにお考えでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。議員おっしゃるとおり基金は大事なものですけれども、一方的にためるだけが目的ではないと思ひてます。その辺りのところを十分に考えながら上

手に運用することが必要だろうと思っています。

これまで基金を取り崩しつつ予算を組んで、最終的にやりくりをして基金をとんとんに持つてくることが繰り返されてきました。しかし、一方で、平成の29年あたりから30年、31年あたりのところまで非常にバランスが崩れた時期がございました。これについてはやはり国からの交付金、交付税というものの算定が非常に厳しい状態があったと。その後、今現在は18兆円からを超える地方交付税の予算が組んであるというところで、私たちも一つ安堵しているところがありますけれども、これもこのまま日本が成長を続けながら18兆円の地方交付税が配分されていくのであれば、これは私どもも安心してやっていけると思います。

一方では、この18兆円は一時的なもので、もしかすれば厳しい状態になるということも可能性としては考えなくてはなりませんので、多様な中で基金の重要性も判断しながら、そして獲得できるお金はしっかりと獲得していくという体制には変わりないと思っています。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

2番、加藤学君。

○議員（2番 加藤 学君） 加藤です。農業関係についてちょっと聞きます。町政要望のときも出てきたんですけれども、昨年につき農業関係ではフルーツロード構想、それから今年度新たにイネカメムシの防除の問題、それとあと町政要望の中の説明の中で1点だけ。個別のって言われましたが、プラスXのって言い方されたのか、それに対する補助を手厚くするってというような説明をちらっとされたと思うんですけれども、今回、予算のほうを大ざっぱに見ると、項目だけで見るとそれほど新たな項目ってというのは見当たらないんですけれども、どうなんでしょう、その辺り。

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午前11時59分休憩

午後 0時00分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

産業課長、藤原宰君。

○産業課長（藤原 宰君） 産業課長です。昨日、町長の提案理由の説明の中で、農業関係のことということです。特に今年度フルーツロード構想、令和5年度から着手させていただいて、特に令和6年度が大幅な事業費が必要になってくるということで重点的にさせていただく必要があると。

それから、令和5年度に発生したイネカメムシの対策というのが急務でありますので、これに対しては防除費に対して委託費用の補助を考えています。

それから、プラスでということではないですけど、この防除薬剤、これについては個別に対応を考えていきたいということで御説明をしたというふうに考えております。以上でございます。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） では、ないようですので、お昼の休憩に入りたいと思います。再開は午後1時といたします。

午後0時01分休憩

午後1時00分再開

○議長（景山 浩君） 午前中に引き続き会議を再開します。

議案に対する質疑を継続します。

議案第19号、令和6年度南部町国民健康保険事業特別会計予算、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 国保の令和6年度の予算は13億2,640万、給付費が減額6,228万5,000円の8億6,600万、納付金も減額1,700万近くで2億5,100万となっています。保険料が1,541万減の1億6,900万です。

それで見通しを聞きます。5月にならないと分からないんですけども、保険にしても、何にしても、地方自治体の予算は単年度ということで見れば、令和6年度の保険料はこれで見ると限りは下がってもいいのかなと思うんですけども、その見通しってというのはどうなんでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町民生活課長、渡邊悦朗君。

○町民生活課長（渡邊 悦朗君） 町民生活課長です。実際は5月になって締めてみないと分かりませんが、今現在は税率を上げなくても済むのではないかと状況ではあります。以上です。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） それで町長にお聞きします。国保は所得のない人も払っていく税金で、特に低所得者に対しては高い保険税になっています。先ほど課長がおっしゃられるように、今期で見ると限りでは、全国的には約6割の自治体が国保税ないしは国保料が上がると言われているんですね。それは都道府県で統一した結果、町村が出していた補助金等が出せなくなったって

ということなんですけれども、南部町で見れば去年と率は変わらないだろうと言っているんですけども、所得が若干上がれば変わってくるんですよね。そういう意味でいえば、保険税の減額等を考えてもいいのではないかと思うのですが、町長はどんなふうにお考えですか。国保税はやっぱり相変わらず高いんですよ。どうお考えですか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。国保税の問題については、この議会の中でも何度も御議論なされていることで十分御承知のことだろうと思ってます。6割の方が減免をされるような保険制度、しかし、一方で国民皆保険の一番基本になる、ベースになっている部分でございますので、その負担感というものはできるだけ和らげたいというのは町長の思いでもございます。できるだけ税負担を減らして皆保険のベースであるこの国民健康保険を守っていききたいと、このように思っています。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 国保税の下がらない一つの原因は、市町村長会とか知事会が国に言っている約束を国が守らないからですよ。お金入れてくれないのが大きな原因で、国庫負担金を増やせば下がってくるわけですよ。それを引き続き言っていってほしいことと、ほかの町村等見てたら、やはり人头税と言われるように子供にも掛けるというのがありますよね。今だんだん国の制度で変わってきましたが、町村独自で18歳以下の子供の保険料ないしは税を減免しているところもあるんですけども、そういうことをお考えになりませんか。やはり住民の暮らしを守っていくという立場でいえば、公共料金引き下げることが一番の仕事だと思うんですが、どのようにお考えですか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。一つの町で特殊なことをするのはいかがなものかと思っています。その結果が今、真壁議員は反対されていますけれども、県の一本化というものを非常に難しいものにしてきています。各市町村長の思いとしては一本化やむなしということであっても、現実に各それぞれの町でやっている特別な上乘せ補助というものが弊害になって、このままで本当に国保が維持できるのかといった問題があると思ってます。国も約束を守らないとは言われていますけれども、一定の基金造成であったり投入もしているという具合に承知しているところでございます。ぜひこの国保の問題を皆さんと十分に認識をしながら、引き続いて将来に向かって安定的な国保運営に努力していききたいと思っています。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 進みます。

議案第20号、令和6年度南部町後期高齢者医療特別会計予算、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 後期高齢は今回2億1,750万の予算ですけれども、後期高齢の保険料率が上がったんですよ。かなり上がってるんですよ。それで、この上がったのがうちの町の後期高齢者の保険料負担とかにどのような影響してるのかって知りたいんですよ。

本会議の場所では資料提起をしたいと思うのですが、保険料率が上がってきて2,732万9,000円の増になっています。所得階層があると思いますので、所得階層でどれくらい上がったのかって分かる資料を出していただきたいが、出ますでしょうか。よろしくお願ひしたい。どうでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町民生活課長、渡邊悦朗君。

○町民生活課長（渡邊 悦朗君） 町民生活課長です。令和6年度分はまだ出ませんので、令和5年分ということでよろしいでしょうか。なら出ます。（「5年分を出している」と呼ぶ者あり）

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第21号、令和6年度南部町墓苑事業特別会計予算、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第22号、令和6年度南部町太陽光発電事業特別会計予算、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第23号、令和6年度南部町水道事業会計予算、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 水道会計につきましては、毎回委員会で第3条、4条関係と、これからのいわゆる留保資金が幾らかあるのかっていうので、将来推計っていうのを出示してもらっています。それが今までは何年間って決まってたんですけども、これが今年度も、6年度分も出示くださるんでしょうかっていうのが一つです。

それと、ちょっとここ聞いたら言われそうですが、もう一つ聞きたいのは、水道事業会計と下水道事業会計の2つになったんですけど、この水道の給水戸数と下水道の給水戸数で500戸も違うんですけども、この理由って何ですか。下水のほうが500戸も多いんですよ。その意味がちょっとよく分からなくて、どういうことか分かりますかということです。（「休憩お願いしてもいいですか」と呼ぶ者あり）

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午後1時09分休憩

午後1時12分再開

○議長（景山 浩君） 会議を再開します。

建設課長、岡田光政君。

○建設課長（岡田 光政君） 建設課長です。まず最初の3条と4条の関係ですけども、今回も御用意させていただきますので、よろしくお願いします。

それから、給水戸数と接続戸数の差があるというところですけども、すみません、ちょっと調べ切れてなくて、後ほど回答させてください。すみません、申し訳ないです。

○議長（景山 浩君） では、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 進みます。

議案第24号、令和6年度南部町下水道事業会計予算、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 下水道事業の予算が今回初めてこういう形で出てきたので、先ほど言ったような給水と引いてる戸数、違いはどうかっていうのが私たちも分かったので、課長、よろしくお願いしますね。

ここで、24号でお聞きしたいのは、南部町の下水道事業会計が初めて出てきました。これも委員会で審査するときに、私たちがなかなかこの企業会計になったら分かりにくいものですから、水道会計のところを出して下さっている3条、4条関係と、内部留保と、将来推計にわたるあの水道会計でしてくれているような形式で下水道の予算も説明していただきたいと思うんですけど、そのようなことができますでしょうかというか、お願いしたいということなんですけど、どうでしょうか。

○議長（景山 浩君） 建設課長、岡田光政君。

○建設課長（岡田 光政君） 建設課長です。下水道のほうも水道と同じように3条と4条の関係のシミュレーション的なものとかっていうことですが、今年、6年度からスタートする新しい会計になっておりますので、その部分でシミュレーション等をまだ作成してませんので、別の資料を用意させていただいて、6年度中はこういう会計でいきますという説明のほうをさせていただくように資料を用意してますので、そちらのほうでお願いしたいと思います。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 分かりましたが、その中では3条、4条関係と収益と資本だけではなくて、どれぐらいの留保資金があってということも分かる資料を作ってくださいということですか。そういうことですか。

○議長（景山 浩君） 建設課長、岡田光政君。

○建設課長（岡田 光政君） 建設課長です。議員の望まれるような資料が御用意できるようにちょっと準備のほうをしてみたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 町長にお聞きします。今回、下水道事業会計が公営企業会計になりました。何回もここで上がっているように、公営企業会計なかなか一般会計からお金が入れにくいということを、水道事業会計では非常にハードルが高くてなかなかしていただけなかったんですよね。いろいろ工夫なさっていますが、今年度の下水道の事業会計を見たら、法定で基準の中で繰り入れるものと、一般財源から繰入れと2つに分けているんですね。こういうふうに位置づけないとできないということは分かるんですけども、どちらも水道会計と下水道会計、公営企業会計なので、下水道事業会計でこういうことができるということは、水道会計でもできるというふうに解釈してと思うのですが、町長、どうですか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。公共料金の負担と、それから公共施設によるサービスというもののバランスというのは重要だと思っています。その中で、これまで長きにわたって家計簿のような単年度収支でやったために、今おっしゃったような3条と4条と内部留保という3つの財布で管理する公営企業会計ができていないといった問題があると思っています。このことによって各市町村、全国の市町村の経営状態というものがよく分かることになろうと思っています。このままの状態がやっていけるのかどうかっていったことがよく分かる会計になろうと思っています。また同時に、各市町村の住民の皆さんの負担状況というものも押しなべてよく分かってくるだろうと思っています。そういうことを私どもも十分に理解しながら、県下の中で南

部町がどういう状態にあるのか、住民の皆さんのサービスを維持するためにはどういう点に注意しなければならないのか。内部留保をどんどん増やす必要はないかもしれませんが、安定した運営をしなければ次の世代にこの水道であったり下水道というインフラを残していけない、こういったことを十分に皆さんと御相談しながら図っていきたいと、このように思っています。

○議長（景山 浩君） 3回終了しております。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 進みます。

議案第25号、令和6年度南部町病院事業会計予算、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第26号、令和6年度南部町在宅生活支援事業会計予算、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第27号、南部町と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第28号、南部町と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約に関する協議について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第29号、公の施設の指定管理者の指定について（南部町介護研修施設）、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 町長にお聞きします。今回、南部町の介護研修施設を新たに5年間、これまでしていた社会福祉法人伯耆の国に指定管理してもらおうと。これたしか指名指定管理だったと思うんですけども、去年の決算の中でこの伯耆の国が指定管理を受けてる介護研修施設の中で、条例に伴わない料金を徴収していたってということがありましたよね。予定を変更をしたんですけども、2,160円しか取れないところを当初の説明では5,000円のお金取っていたということで、条例上それを取れる根拠はないんじゃないかっていうところで、後から訂

正したってということがあるんですけども、そのことを見る限り、本来、公共施設使うときには条例で決めた金額以外は取れませんよと、利用料等がですね。きちっとその辺は把握してほしいというような等、この指名指定である相手方にそういうような協議をしたのかっていうのが一点と、もう一点は、このことで分かってくることは、この指定管理となっている例えば研修施設であれば健康福祉課が担当になるわけですよ。ところが、建物管理という点でいえば、健康福祉課がするよりも一括でしたほうが問題点が見えてきやすいのではないかとそのときの決算で思ったんですけども、町長、どんなふうにお考えですか。ただ単に施設を管理しているものを、それが名目上、介護研修施設だから健康福祉課が持っていく形で、指定管理というのであれば、もう施設管理のところで管理するほうが問題点が見えやすいということでどうかという点。

それと、3つ目は、これも聞くんですけども、この指定管理をしている介護研修施設にJ O C Aの職員が宿泊していたってところがあります。これ目的外使用に当たらないかって聞いたら、そうではないって言ったんですけども、例えば火事等で住民が住むとこに困っているところへの避難措置って、これ町長の権限でできますよね。今回あったようなJ O C Aの方々、来るといような方はお金を落としてくださるんだから、町内のどっか宿泊施設に泊めたらいいことであって、そういう使い方もこれはどこが判断してしているのかという点です。町の事業だから町が判断しているのではないかと思うんですけども、そういう考え方についてどう思いますか。言ってみれば、もう指定管理にしたら向こうの任せっ放しになってるんじゃないかという感じもして仕方がないんですが、どうですか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 私からは、指定管理の管理の在り方、これについてもこの議会の中でも何度も御協議いただいた事項だと思っています。私もある一定、真壁議員のおっしゃっていることに賛同したいと思っています。各課の中で管理する不合理性というのもきっとあるだろうと思っています。そのために職員としては押しなべて指定管理者に依存するという体制もあるかもしれません。そういう点を行政改革の中の一つの見直しとして、今、検討課題に上げているところでございます。

もう一点、J O C Aと言いましたが、J I C Aの研修生でございますね。グローバル研修ということで町としても非常に期待をしています。海外に、任国に行く前の数か月間を南部町で過ごし、そして2年間の任国でその国の支援に当たり、さらに帰った後、第二のふるさととして南部町をまた訪れてほしいという願いを常に私も直接言ってきました。そういう思いもこの中で、今回、J I C Aの研修のためであれば、これは町民の福利の厚生・増進につながると、長い目で見

ればそうなるだろうということであの研修施設を使わせたものでございます。決して用途外に使ったということは認識しておりません。

一番最初に言われました項目につきましては担当課のほうから申し上げます。

○議長（景山 浩君） 健康福祉課長、前田かおり君。

○健康福祉課長（前田かおり君） 健康福祉課長です。指定管理の今度お願いをしにまた伯耆の国に参りたいと思いますけども、そのときに指定管理について目的等、使用料も含めましてきちんとまた共有していきたいと思います。以上です。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 町長も先ほどもお聞きになったように、本来の仕事に当たるかどうかという点でいえば、そういう指定管理の中の決め事も担当課が行かないといけなくなっちゃうんですよね。そういう意味でいえば、きちっと管理する責任はどこにある。役場の中できちっと決めてそこに当たってほしいと町長も思っているのであれば、この行政改革を待たずに早期にさせていただいたほうが、私たちも、予算の審査のときでも非常にそのほうが分かりやすいので、早期にしてほしいのかという点です。

それと、さっきごめんなさい、J O C AじゃなくてJ I C Aですけども、将来にわたって増進するというのでなくて、きちっと指定管理しているところが本来の目的に沿っているかどうかというところでやっていかなければ、例えば今回なんかは、J I C Aが来るときはきちっと研修で来るから、向こうからお金出し、旅費も出すわけですよ。だとすれば、例えば緑水園のような宿泊施設で、今、人がいないというところに割り振るとかね。何が何でも、目的外使用じゃないというけど、目的の介護研修じゃなかったらそういうことも十分考えられるし、考えていかないといけないのではないかと思うんですよね。そういう点から見たら、指定管理をした後の目的仕様だとか考えるためにもきちっとした施設の管理の場所が要るところで、早急にやるべきだという点を指摘していますが、どうでしょうか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長でございます。なぜあそこを使ったのかというのは、やはり車を持たないですし、主に自転車等で移動する手段があって、少し緑水園からは遠いということもあって、J I C A等々、せっかくの研修生を預かる町としてそのようなことができないなといったところで、いわゆる伯耆の国にも御無理を申し上げて、町長の特別なその他の項目の中でした事項でございます。こういうその他の使い方というのがあまりにも広がるといけませんけれども、一定、日本の国を代表して任国に行って、日の丸をもってその国の、発展途上の国の責務に当たる

事前の研修を南部町でやっていただくという大義の中で町長として認めたものでございますので、町民の御理解いただけるものと思っております。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（景山 浩君） では、次に議案第30号に移りますが、本議案につきましては除斥の対象者がいらっしゃいます。

退席を求めます。

休憩します。

午後1時27分休憩

午後1時28分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

議案第30号、公の施設の指定管理者の指定について（南部町地域農産物加工施設めぐみの里）、質疑はありませんか。

13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 今回の公の施設の指定管理はめぐみの里、これまで3年間JOCAに指定管理をしてもらっていたら、今期でおしまいだということで山菜加工組合が引き受けてくださるという議案だというふうに理解しています。

そこで町長、お聞きいたしますのは、JOCAというのは地域再生推進法人でしたっけ、町のね。スポnetとデザイン機構と一緒にして、共に行政と一緒にになっていくというところでの、そういう団体だというふうに理解しています。このJOCAが来られてから、今回、3年間して、3年間やから次できなくなるよというのはいいんですけども、前、野の花のときも十分できるよっていいながら途中でできなかったという問題。

それから、今回、JOCAがなされたときも、今までに、3年前に比べて随分設備投資というか、直してきたりとかしたという経過も感じるわけですよ。一体、JOCAとこの地域再生推進法人で町と協力していくという点ではどのような協議をしているのかというところがよく分からないですよ。今回のJOCAがここを引き揚げるという理由は何であったのかっていうこと、詳細は委員会でお聞きしますけれども、町長は、このJOCAですね、うちの町にいてJOCAがどのような活動している中で、今までここを担ってきてもらったんだけど、できなくなっている。若干住民から見ても、野の花のときもそうだし、この場合もJOCAはできなくなっ

たら引いてしまうのではないかっていう意見が出ています。それに対して町長はどのようにお考えですか。今後、どのような法人と一緒に町を活性化していくために、どのような在り方が適切だと思っているわけですか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） これまでの経過につきましては、担当課のほうにまた委員会の中で聞いていただければいいと思います。本当に詳細なところまで理解しているかどうかということはここで申し上げられにくいこともありますので、私からは、J O C Aについての御質問だというふうに思っています。

地域再生推進法人としてJ O C Aを認定し、多様な業務に携わっていただいています。その中で、野の花にしても、このめぐみの里にしても、町内のこれまでの事業者が撤退してしまった中を、ではやってみようということで地域再生の一環として手を挙げていただきました。今回もJ O C Aが数年前からこれを運営するために非常に厳しいという声を上げながらも、もう少し頑張っていただけないかと、次にやる方を町としても鋭意探していくけれども。言ってみれば、これができなかつたら、いわゆる管理していただく組織がなければ、町が直営をする方法、または廃止をするという選択しか私はないと思っています。特にこのめぐみの里については生産者が町であるということが一番重大な問題でして、これがなかなか、大山町でも課題になりましたけれども、運営される方が責任を持って、今、いろいろな面で課題になってます食品の安全に対する責任を取っていただかなければ運営できないような状況になっています。その中で、今回、西伯山菜加工所ですか、西伯山菜に手を挙げていただきました。大変ありがたいと思っていますけれども、また課題は必ず出てくると思っています。これまでのJ O C Aの地域再生推進法人としてやっていただいたことに対しても感謝をしますし、今度の西伯山菜の可能性についても期待するところです。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） 町長がさっきおっしゃったこの事態を乗り切るには、人が見つからなかつたら直営か廃止しかないのではないかっていうことですよね。J O C Aにお願いしてきたのは、これまで町内、自分たちで作って見たんだけど、町内誰も手を挙げる人いなかったということは成り立たんということですよ、採算性で。採算性で成り立たないのをどこへ持っていったって一緒ですよ。だとすれば、めぐみの里の先ほどの特異性考えた場合、町が生産者にならないといけないって考えたら、どうして直営にすることを選ばなかつたんですか。そのほうが一番確実にいくし、何回も同じこと繰り返すし、山菜加工組合の方にかけて、J O C Aと同じよ

うなしんどい思いさせるんじゃないですか。もしそれが分かっているのであれば、私は直営が一番いいと思うんですけども、今回、J O C Aがこれではやり切れないというのであれば、その指定管理費が適切であったのかどうかということも含めて住民が使いやすい方法を考えんといけんと思うんですが、同じこと繰り返してるのかなと思うんですよ。どうなんですか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。これまでの経緯は皆さんもよく御存じだと思いますけれども、いわゆる販売としての製品を作る上で、果たして、南部町の生産責任でやるということは非常にリスクが大きいと私は常々思っています。これは他町でもあることだと認識していますし、議論になってる課題であろうと思っています。

数十年前であればこれは当たり前であったんですけども、近年の食品安全に関する厳しい指摘等を踏まえて多くの市町村がその中で責任が持てる方に移行してきました。ですから、町として、直営で安全管理をしながら販売を促進していくということは、これは安全上非常に困難であろうというふうに認識しております。専門の食品安全に対する経験がある方がこれに携わることが必要ですし、今後の運営についてもそのことを期待しているところでございます。

○議長（景山 浩君） 13番、真壁容子君。

○議員（13番 真壁 容子君） このそもそものめぐみの里ができたのは農家の所得向上なんですよ。所得向上で、地産地消で、そこでできたものを加工して売っていく。それと同時に売るだけではなくって、住民たちのみそ造りとか豆腐作りみたいに利用しやすい場所、より使ってもらう人を増やしていくということですよ。

この3年間、以前におられた方もいなくなって、利用する住民からしても、みそ造りの専門家がいなかったり、機械の使い方が分からなかったり、正直言って以前のほうが使い勝手がよかったというふうに私自身も認識しているわけですね。だとすれば、そこに力を入れるのであれば直営でしっかりと賃金も払って、専門家も配置したことのほうがよりここの効果が上がるし、成果も上がってくるのではないかと思うんですけども、そういう選択をなさらなかった町ができないという理由は、先ほど言った専門性がないからできないということなんですか。私は反対だと思っているんですけども、その考えを変えるつもりはありませんか。

○議長（景山 浩君） 町長、陶山清孝君。

○町長（陶山 清孝君） 町長です。これも数十年来ずっと続けてきたことですけども、何年来この問題についても指摘をしながら担当課と改善を図ってきましたが、なかなかこの改善図らない。それは一つには、今、真壁議員がおっしゃったような各御家庭で、御自分で食べるためのお

みそを造りたいだとか、それから自分ところの子供のために豆腐を作ってみたいっていったところがまずは発端だったわけです。ですから、農家の所得向上というのはその後からついてきて、大豆の加工だとかということをどんどん増やしてきました。その当時は食料安全に対する厳しい目線はなかったわけです。しかし、現実には今、非常に厳しい食料安全に関する法律や指摘があります。したがって、販売という問題について責任を持っていただく方を指定管理にするということは今しながら、さらにはそれを通じて各御家庭で自家消費のおみそを造るだとか、豆腐を食べるだとか、そういうことにも御協力いただくような指定管理者を探しているところです。販売となったときに果たしてその個人のお店っていうんですか、売るためのものに対して行政が直接そこに手を出すというのは、やはり今現在の中では極めて厳しいのではないかと、このように思っています。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 休憩します。

午後 1 時 3 8 分休憩

午後 1 時 3 8 分再開

○議長（景山 浩君） 再開します。

議案第 3 1 号、区域外における公の施設の廃止に関する協議について、質疑はありませんか。

1 1 番、細田元教君。

○議員（11番 細田 元教君） この中で須山の停留所、俺は両方とも問題はああるけど、何で南部町だけが費用負担せないけんですか。

○議長（景山 浩君） 企画政策課長、田村誠君。

○企画政策課長（田村 誠君） 企画政策課長、田村です。費用負担のところですけども、設置においても南部町で負担をしていますので、撤収に関しても南部町のほうで負担するというところで協議を調べています。以上です。

○議長（景山 浩君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 進みます。

議案第 3 2 号、財産の無償貸付について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 議案第33号、町道路線の認定について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 以上をもちまして本日の日程の全部を終了いたしました。

これをもって本日の会を閉じたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（景山 浩君） 御異議なしと認めます。よって、本日の会議はこれをもって散会といたします。

また、来週11日は定刻より一般質問を行う予定でありますので、御参集をお願いいたします。
お疲れさまでした。

午後1時40分散会